

令和6年度年間指導計画 【国語】

話すこと・聞くこと

話すこと／聞くこと

2024/1/6 作成中

北区立都の北学園

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	はるがきた おはなしたのしいな なんていおうかな かくことたのしいな どうぞよろしく こんなものみつけたよ うたにあわせてあいうえお	こえにだしてよもう よくきいて、はなそう ことばをはなそう はなのみち としょかんへいこう かきとかぎ ぶんをつくらう ねことねっこ	わけをはなそう おばさんとおばあさん あいうえおでそぼう つぼみ おもちゃとおもちゃ おおきくなった おおきなかぶ	はをへをつかおう すきなものなあに おむすびころりん としょかんとなかよし	こえをあわせてよもう みんなにしらせよう ことばをみつけよう やくそく かたかなをみつけよう うみのかくれんぼ かずとかんじ	くじらくも まちがいをなおそう しらせたいな、見せたいな かん字のはなし ことばをたのしもう	ことばをたのしもう じどう車くらべ じどう車ずかんをつくらう かたかなをかこう どんなおはなしができるかな たぬきの糸車	たぬきの糸車 日づけとよう日 てがみでしらせよう むかしはなしをよもう おかゆのおなべ	なりきってよもう くわしくきこう ことばでそぼう どうぶつのお赤ちゃん もののなまえ	わらしべちょうじゃ かたかなのかたち ことばあそびをつくらう これは、なんでしょう ずらっと、ずっと、大すきだよ	ずらっと、ずっと、大すきだよ にているかん字 いいこといっぱい一年生
2年	じゅんぼんに並ぼう 絵を見てかこう ふきのとう 図書館たんけん 春がいっぱい 日記を書こう ともだちはどこかな	ともだちはどこかな たんぼほのちえ かんざつ名人にならう	いなばの白うさぎ 同じぶぶんをもつかん字 スイミー かん字のひろば① メモをとるとき こんなもの見つけたよ	こんなもの見つけたよ あったらいいな、こんなもの 夏がいっぱい ミリーのすてきなぼうし	雨のうた ことばでみちあんない みの回りのものを読もう 書いてみる、見直そう かん字のひろば② どうぶつ園のじゅうい かたかなのひろば ことばあそびをしよう	なかまのことばとかん字 かん字のひろば③ お手紙 主語と述語に気をつけよう かん字の読み方 秋がいっぱい そうだんにのって下さい	そうだんにのって下さい 紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう にたいみのことば、ほんたいのいみ のことば せかいーの話 かん字の広場④ みきのたからもの	みきのたからもの お話のさくしゃにならう 冬がいっぱい	ねこのこ かたかなで書くことば ことばを楽しもう ロボット ようすをあらわすことば 見たこと、かんじたこと	見たこと、かんじたこと カンジーはかせの大はつめい すてきなところをつたえよう スーホの白い馬	スーホの白い馬 かん字の広場⑤ 楽しかったよ、二年生 二年生をふりかえって
3年	よく聞いて、じこしょうかい どきん わたしのさいごうの一日 春風をたどって 図書館たんていだん 国語辞典を使おう 漢字の広場① 春のくらし	もっと知りたい友だちのこと 漢字の音と訓 漢字の広場② こまを楽しむ	気持ちをこめて「来てください」 漢字の広場③ まいごのかぎ 俳句を楽しもう こそあど言葉を使いこなそう 引用するとき	仕事の工夫、見つけたよ 夏のくらし 鳥になったきょうりゅうの話	わたしと小鳥とずすと 夕日がせなかをおしてくる こんな係がクラスにほしい ポスターを読もう 書くことを考えるときは 漢字の組み立て ローマ字 ちいちゃんのかげおくり	ちいちゃんのかげおくり 修飾語を使って書こう 秋のくらし おすすめのさつづきを決めよう	すがたをかえる大豆 食べ物のみつづきを教えます ことわざ・故事成語 漢字の意味 短歌を楽しもう 漢字の広場④	三年とうげ わたしの町のよいところ 冬のくらし	詩のくふうを楽しもう 四まいの絵を使って カンジーはかせの音訓かるた 漢字の広場⑤ ありの行列 つたわる言葉で表そう	つたわる言葉で表そう たから島のぼうけん お気に入りの場所、教えます	モチモチの木 漢字の広場⑥ 三年生をふり返って
4年	力を合わせてばらばらに 春のうた なりきって書こう 白いぼうし 図書館の達人にならう 漢字辞典を使おう 春の楽しみ	聞き取りメモのくふう カンジーはかせの都道府県の旅1 漢字の広場① 思いやりのデザイン アップとルーズで伝える	お礼の気持ちを伝えよう 漢字の広場② 一つの花 つなぎ言葉のはたらきを知らう 短歌・俳句に親しもう（一） 要約するとき 新聞を作らう	新聞を作らう アンケート調査のしかた カンジーはかせの都道府県の旅2 夏の楽しみ 本のポップや帯を作らう 神様の階段	忘れもの ぼくは川 あなたなら、どう言う パンフレットを読もう どう直したらいいかな いろいろな意味をもつ言葉 ローマ字を使いこなそう 漢字の広場③ ごんぎつね	ごんぎつね 漢字を正しく使おう 秋の楽しみ クラスみんなで決めるには	未来につなぐ工芸品 工芸品のみりよくを伝えよう 慣用語 短歌・俳句に親しもう（二） 漢字の広場④	友情のかべ新聞 もしものときにそなえよう 冬の楽しみ	自分だけの詩集を作らう 言葉から連想を広げて 熟語の意味 漢字の広場⑤ 風船でうちゅうへ	つながりに気をつけよう 心が動いたことを言葉に 調べて話そう、生活調査隊	調べて話そう、生活調査隊 スワンレイクのほとり 漢字の広場⑥ 四年生をふり返って
5年	ひみつの言葉を引き出そう かんがえるのっておもしろい 名前を使って、自己しょうかい 銀色の裏地 図書館を使いこなそう 漢字の成り立ち 春の空	きいて、きいて、きいてみよう 見立てる 言葉の意味が分かること	言葉の意味が分かること 敬語 日常を十七音で 漢字の広場① 古典の世界（一） 目的に応じて引用するとき みんなが使いやすいデザイン	みんなが使いやすいデザイン 同じ読み方の漢字 夏の夜 作家で広げるわたしたちの読書／メモ	かぼちゃのつるが われは草なり どちらを選びますか 新聞を読もう 文章に説得力をもたせるには 漢字の広場② たすねびと	たすねびと 漢字の広場③ 方言と共通語 秋の夕 よりよい学校生活のために	浦島太郎―「御伽草紙」より 和語・漢語・外来語 固有種が教えてくれること 自然環境を守るために カンジー博士の暗号解読	古典の世界（二） 漢字の広場④ やなせたかし アーンパンマンの勇氣 あなたは、どう考える 冬の朝	好きな詩のよさを伝えよう 言葉でスケッチ 熟語の読み方 漢字の広場⑤ 想像力のスイッチを入れよう 複合語	言葉を使い分けよう もう一つの物語 「子ども未来科」で何をする	「子ども未来科」で何をする 大造じいさんとガン 漢字の広場⑥ 五年生をふり返って
6年	つないで、つないで、一つのお話 準備 伝わるかな、好きな食べ物 帰り道 公共図書館を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき	聞いて考えを深めよう 漢字の広場① 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	時計の時間と心の時間 文の組み立て たのしみは 天地の文 情報と情報をつながて伝えるとき デジタル機器と私たち	デジタル機器と私たち 夏のさかり 私と本 星空を届けたい	せんねんまんねん 名づけられた葉 いちばん大事なのは インターネットを読もう 文章を推敲しよう 漢字の広場② やまなし イーハトーヴの夢	やまなし イーハトーヴの夢 漢字の広場③ 熟語の成り立ち 秋の深まり みんなて楽しく過ごすために 話し言葉と書き言葉	狂言「柿山伏」を楽しもう 『鳥獣戯画』を読む 漢字のみりよく カンジー博士の漢字学習の秘伝	カンジー博士の漢字学習の秘伝 漢字の広場④ ぼくのブック・ウーマン おすすめのパンフレットを作らう 冬のおとずれ	詩を朗読しようかいいしよう 知ってほしい、この名言 日本の文字文化 漢字の広場⑤ 「考える」とは 使える言葉にするために 日本語の特徴	日本語の特徴 大切にしたい言葉 今、私は、ぼくは	海の命 漢字の広場⑥ 中学校へつなげよう 生きる 人間は他の生物と何がちがうのか
7年	朝のリレー 野原はうたう 声を届ける／書き留める／言葉を調べる	シンジュン 【聞く】情報を的確に聞き取る 情報整理のレッスン 比較・分類 情報を整理して書こう わかりやすく説明する 漢字1 漢字の組み立てと部首	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 思考のレッスン1 意見と根拠 語の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する 漢字に親しもう2 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 言葉1 指示する語句と接続する語句 言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を自覚して 読書を楽しむ 本の中の中学生	大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに 聞き上手になろう 質問で話を引き出す 項目を立てて書こう 案内文を書く 【推敲】読み手の立場に立つ	言葉2 方言と共通語 漢字2 漢字の音訓 10月「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 思考のレッスン2 原因と結果 根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く 漢字に親しもう3 【話し合い】話し合いの展開を捉える	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする 音読を楽しもう 大阿蘇 音読を楽しもう いろは歌 蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から 今に生きる言葉	「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く 漢字に親しもう4 文法への扉2 言葉の関係を考えよう 考える人にならう 君たちはどう生きるか たのしい制約	少年の日の思い出 漢字に親しもう5 文法への扉3 単語の性質を見つけよう 随筆二編	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 言葉3 さまざまな表現技法 漢字3 漢字の成り立ち	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する さくらはなはなら 学習を振り返ろう
8年	見えなだけ アイスプラネット 【聞く】問いを立てながら聞く	杭草子 （季節のしおり 春） 情報整理のレッスン 思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう 職業カードを作る 漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1 クマゼミ増加の原因を探る	思考のレッスン1 具体と抽象 知力的な発表をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする 漢字に親しもう2 文法への扉1 単語をどう分ける？ メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう	短歌に親しむ 短歌を味わう 【書く】短歌を作らう 言葉の力 言葉1 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう もっと「伝わる」表現を自覚して 読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう	益土産 （季節のしおり 夏） 字のない葉書 根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く 漢字に親しもう4 【討論】異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する 言葉2 敬語 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	モアイは語る―地球の未来 思考のレッスン2 根拠の吟味 根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く 漢字に親しもう4 【討論】異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する 言葉2 敬語 音読を楽しもう 月夜の浜辺 （季節のしおり 秋）	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 扇の約 ―「平家物語」から 仁和寺にある法師―「徒然草」から 【書く】人物の特徴を捉えて論じよう 漢詩の風景	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ 魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く 漢字に親しもう5 文法への扉2 走る、走らない、走らうよ。 研究の現場にようこそ	走れメロス 【書く】作品の魅力をもとめ、語り合おう （季節のしおり 冬） 漢字に親しもう6 文法への扉3 一字違いで大違い	構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く 言葉3 話し言葉と書き言葉 漢字3 送り仮名 木 （学習を振り返ろう）	

9年	世界はうつくしいと握手 【聞く】評価しながら聞く	学びて時に之を習ふ——「論語」から 情報整理のレッスン 情報の信頼性 文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1 作られた「物語」を超えて	思考のレッスン 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう2 文法への扉1 すいかは幾つ必要？ 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 言葉1 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう	挨拶——原爆の写真によせて 故郷 聞き上手になろう 質問で相手の思いに通る [推敲]論理の展開を整える 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く 漢字に親しもう4	[議論]話し合いを効果的に進める 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く 音読を楽しもう 初恋 和歌の世界 君待つと一万葉・古今・新古今 夏草——「おくのほそ道」から 古典名句・名言集 誰かの代わりに	情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く 漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5 文法への扉2 「ない」の違いがわからない？ 本は世界への扉 エルサルバドルの少女ヘスース 紛争地の看護師	温かいスーブ わたしを束ねないで	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする 漢字に親しもう6	学習を振り返ろう
----	------------------------------------	--	---	---	--	---	--	---	---------------------	--	----------

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表A(1)ア 身近なことや経験した ことなどから話題を決 め、伝え合うために必 要な事柄を選ぶこと	思・判・表A(1)イ 相手に伝わるように、 行動したことや経験し たことに基づいて、話 す事柄の順序を考 えること	思・判・表A(1)ウ 伝えたい事柄や相手 に応じて、声の大き さや速さなどを工夫 すること	思・判・表A(1)エ 話し手が知らせたい ことや自分が聞きた いことを落とさない ように集中して聞 き、話の内容を捉え て感想をもつこと	思・判・表A(1)オ 互いの話に関心をも ち、相手の発言を受 けて話をつなぐこと	
1 年	みんなにしらせよ う			○	◎		知らせたいことを話す ○伝えたいことを決め、二、三文程度で話す。 ○聞き手の方を向いて、聞きやすい大きさの声と速さで話す。 ○話している友達を見て、終わりまで聞く。 ○聞き手は、質問したり、感想を言ったりする。
	どんなおはなしが できるかな					◎	よく聞いて、話を続ける ○絵の中の動物になりきって、話す。 ○友達が言ったことをよく聞いて、話を続ける。
	くわしくきこう	○			◎	◎	考えながら聞く ○詳しく知りたいことを考えながら聞く ○もっと知りたいことを質問する。
2 年	ともだちはどこか な			○	◎		大事なことを落とさずに聞く ○聞いておくとよいことは何かを考えながら聞く。 ○聞いたことの中から、大事だと思うことをメモする。
	あったらいいなこ んなもの	○			◎		質問をして、相手の考えを引き出す ○相手の考えを詳しく聞くために、大事なことは何かを考えて、質問する言葉を選ぶ。
	対話の練習 ことばでみちあ ない		◎		○		相手に正しく伝わるように話す ○何について話すかを、初めに言う。 ○話す順序を考える。 ○大事なことは、詳しく言う。
	楽しかったよ、二年 生	○	◎	○			組み立てを考えて、話す ○伝えたいことを、「初め」「中」「終わり」の組み立てで、順序よく話す。 ○聞き取りやすい声の大きさや、話す速さを考える。

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表B(1)ア 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと	思・判・表B(1)イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること	思・判・表B(1)ウ 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫すること	思・判・表B(1)エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと、自分の考えをもつこと	
3年	もっと知りたい、友だちのこと	○			◎	話を聞いて、知りたいことを質問する ○話す人の方を見ながら、話の中心に気をつけて聞く。 ○自分が特に知りたいことをはっきりさせ、どのように質問するとよいかを考える。
	お気に入りの場所、教えます		◎	○		理由を挙げて、伝えたいことを話す ○伝えたいことをはっきりさせ、「初め」と「終わり」で繰り返す。 ○伝えたいことに合う理由を考え、分かりやすい資料を用意する。 ○伝えたいことに合わせて、声の強弱や話す速さなどの工夫をする。
4年	聞き取りメモのくふう				◎	メモをとりながら聞く ○メモを取る目的を確かめる。 ○必要なことは何かを考え、要点を短い言葉で書く。 ○後で確かめたいことには、印などをする。 ○話が終わったら、すぐにメモを読み返し、書き足すなどして整理する。
	調べて話そう、生活探検隊	◎	○	◎		大事なことがよく伝わるように話す ○調べて分かったことを整理して、考えたことや伝えたいことをはっきりさせる。 ○聞く人に大事なことが伝わるように、声の大きさや話す速さ、間の取り方、資料の見せ方を工夫する。

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表B(1)ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討すること	思・判・表B(1)イ 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考慮すること	思・判・表B(1)ウ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること	思・判・表B(1)エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること	
5年	ききて、きいて、きいてみよう	○			◎	意図を考えながらききあう <尋ねるとき> ○ききたいことをはっきりさせて、話の流れに沿って質問する。 ○話す人が伝えたいことを考えたり、内容を確認めたりする。 <質問に答えるとき> ○相手が何を知りたいのか、意図を確認めながら話す。 <話を記録してまとめるとき> ○やり取りを正確に聞いて、要点をメモに取る。
	「子ども未来科」で何をする		◎	○		説得力のある提案をする ○自分の立場や提案内容を明確にする。 ○課題や根拠となる事実と、自分の考えや意見とを区別して、話を組み立てる。 ○根拠となる図表などを資料にまとめて、提示する。
6年	聞きて、考えを深めよう				◎	話を聞いて、考えを深める ○自分の知りたいことが相手に伝わるように、言葉を選んで質問する。 ○相手がなぜそう考えるのか、確かめたり考えたりしながら、話を聞く。 ○自分の考えと比べながら聞き、新たな気づきや、共感・納得できる点」を取り入れるなどして、考えを深める。
	今、私は、ほくは		○	◎		資料を活用して、自分の思いや考えを効果的に伝える ○伝えたいことや、聞く人の知識や関心に合わせて、資料を作る。 ○伝えたい思いや考えに応じて、資料の示し方や話し方、言葉の選び方を工夫する。 ○聞いている人の反応を確認めながら、必要に応じて説明を補うなどする。

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表A(1)ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること	思・判・表A(1)イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して話の構成を考えること	思・判・表A(1)ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること	思・判・表A(1)エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること	
7年	聞く 情報を的確に聞き取る	◎			◎	必要な情報を的確に聞き取り、メモを取る ○情報を整理する
	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	◎	◎			話の構成を考えて魅力的なスピーチをする ○声の大きさや速さなど、話し方を意識して話す
	聞き上手になろう 質問で話を聞き出す				◎	質問で話を引き出す ○音声の働きや仕組みを意識して話す
	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する			◎		聞き手の反応に注意しながら話す ○音声の働きや仕組みを理解する。

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表A(1)ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること	思・判・表A(1)イ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を考えること	思・判・表A(1)ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること	思・判・表A(1)エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること	
8年	聞く 問いを立てながら聞く	◎			◎	話の要点を捉え、筋道が通っているかを検討する ○意見や根拠について検討する。
	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする		◎	◎		話の構成や資料を工夫して相手の心を動かす提案をする ○言葉には、相手の行動を促す働きがあることを知る。
	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す				◎	質問で思いや考えを引き出す ○言葉には、相手の行動を促す働きがあることを意識する。

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表A(1)ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること	思・判・表A(1)イ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を考えること	思・判・表A(1)ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること	思・判・表A(1)エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること	
9年	聞く 評価しながら聞く	◎			◎	内容や表現のしかたを評価しながら聞く ○情報の信頼性の確かめ方を理解して使う。
	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける	◎	◎			聞き手の心に訴えるスピーチをする ○根拠となる情報の信頼性を確かめる。
	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る				◎	質問で相手の思いに迫る ○相手や場に応じた適切な言葉遣いをする。
	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする			◎		場の状況によって言葉を選び、考えをわかりやすく伝える ○相手や場に応じた言葉を適切に使う。

令和6年度年間指導計画 【国語】

話すこと・聞くこと

話し合うこと

2024/1/6 作成中

北区立都の北学園

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	はるがきた おはなしたのしいな なんていおうかな かくことたのしいな どうぞよろしく こんなものみつけたよ うたにあわせてあいうえお	こえにだしてよもう よくきいて、はなそう ことばをはなそう はなのみち としゃかんへいこう かきとかぎ ぶんをつくらう ねことねっこ	わけをはなそう おばさんとおばあさん あいうえおであそぼう つぼみ おもちゃとおもちゃ おおきくなった ぶんをつくらう おおきなかぶ	はをへをつかおう すきなものなあに おむずびころん としゃかんとなかよし	こえをあわせてよもう みんなにしらせよう ことばをみつよう やくそく かたかなをみつよう うみのかくれんぼ かずとかんじ	くじらくも まちがいをなおそう しらせたいな、見せたいな かん字のはなし ことばをたのしもう	ことばをたのしもう じどう車くらべ じどう車ずかんをつくらう かたかなをかこう どんなおはなしができるかな たぬきの糸車	たぬきの糸車 日づけとよう日 てがみでしらせよう むかしはなしをよもう おかゆのおなべ	なりきってよもう くわしくきこう ことばであそぼう どうぶつのお赤ちゃん ものなまえ	わらしべちようじゃ かたかなのかたち ことばあそびをつくらう これは、なんでしょう ずうっと、ずっと、大すきだよ	ずうっと、ずっと、大すきだよ にているかん字 いいこといっぱい一年生
2年	じゅんばんに並ぼう 絵を見てかこう ふきのとう 図書館たんけん 春がいっぱい 日記を書こう ともだちはどこかな	ともだちはどこかな たんぼぼのちえ かんざつ名人にならう	いなばの白うさぎ 同じぶんをもつかん字 スイミー かん字のひろば① メモをとるとき こんなもの見つけたよ	こんなもの見つけたよ あったらいいな、こんなもの 夏がいっぱい ミリーのすてきなぼうし	雨のうた ことばでみちあない みの回りのものを読もう 書いたら、見直そう かん字のひろば② どうぶつ園のじゅうい かたかなのひろば ことばあそびをしよう	なかまのことばとかん字 かん字のひろば③ お手紙 主語と述語に気をつけよう かん字の読み方 秋がいっぱい そうだんにのってください	そうだんにのってください 紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう にたいみのことば、ほんたいのいみ のことば せかいーの話 かん字の広場④ みきのたからもの	みきのたからもの お話のさくしゃにならう 冬がいっぱい	ねこのこ かたかなで書くことば てがみを楽しもう ロボット ようすをあらわすことば 見たこと、かんじたこと	見たこと、かんじたこと カンジーはかせの犬はつめい すてきなところをつたえよう スーホの白い馬	スーホの白い馬 かん字の広場⑤ 楽しかったよ、二年生 二年生をふりかえって
3年	よく聞いて、じこしょうかい どきん わたしのさいごうの一日 春風をたどって 図書館たんていだん 国語辞典を使おう 漢字の広場① 春のくらし	もっと知りたい友だちのこと 漢字の音と訓 漢字の広場② こまを楽しむ	気持ちをこめて「来てください」 漢字の広場③ まいごのかぎ 俳句を楽しもう こそあど言葉を使いこなそう 引用するとき	仕事の工夫、見つけたよ 夏のくらし 鳥になったきょうりゅうの話	わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる こんな係がクラスにはほ しい ポスターを読もう 書くことを考えるときは 漢字の組み立て ローマ字	ちいちゃんのかげおくり 修飾語を使って書こう 秋のくらし おすすめの一さつを決 めよう	すがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えます ことわざ・故事成語 漢字の意味 短歌を楽しもう 漢字の広場④	三年とうげ わたしの町のよいところ 冬のくらし	詩のくふうを楽しもう 四まいの絵を使って カンジーはかせの音訓かるた 漢字の意味 ありの行列 つたわる言葉で表そう	つたわる言葉で表そう たから島のぼうけん お気に入りの場所、教えます	モチモチの木 漢字の広場⑥ 三年生をふり返って
4年	力を合わせてばらばらに 春のうた なりきって書こう 白いぼうし 図書館の達人にならう 漢字辞典を使おう 春の楽しみ	聞き取りメモのくふう カンジーはかせの都道府県の旅1 漢字の広場① 思いやりのデザイン アップとルーズで伝える	お礼の気持ちを伝えよう 漢字の広場② 一つの花 つなぎ言葉のはたらきを知ろう 短歌・俳句に親しもう（一） 要約するとき 新聞を作ろう	新聞を作ろう アンケート調査のしかた カンジーはかせの都道府県の旅2 夏の楽しみ 本のポップや帯を作ろう 神様の階段	忘れもの ぼくは川 あなたなら、どう言う かな パンフレットを読もう どう直したらいいかな いろいろな意味をもつ言葉 ローマ字を使いこなそう 漢字の広場③ ごんぎつね	ごんぎつね 漢字を正しく使おう 秋の楽しみ クラスみんなで決める には	未来につなぐ工芸品 工芸品のみりよくを伝えよう 慣用句 短歌・俳句に親しもう（二） 漢字の広場④	友情のかべ新聞 もしものときにそなえよう 冬の楽しみ	自分だけの詩集を作ろう 言葉から連想を広げて 熟語の意味 漢字の広場⑤ 風船でうちゅうへ	つながりに気をつけよう 心が動いたことを言葉に 調べて話そう、生活調査隊	調べて話そう、生活調査隊 スワンレイクのほとりで 漢字の広場⑥ 四年生をふり返って
5年	ひみつの言葉を引き出そう かんがえるのっておもしろい 名前を使って、自己しょうかい 銀色の裏地 図書館を使いこなそう 漢字の成り立ち 春の空	きいて、きいて、きいてみよう 見立てる 言葉の意味が分かること	言葉の意味が分かること 敬語 日常を十七音で 漢字の広場① 古典の世界（一） 目的に応じて引用するとき みんなが使いやすいデザイン	みんなが使いやすいデザイン 同じ読み方の漢字 夏の夜 作家で広げるわたしたちの読書／モ モ	かぼちゃのつるが われは草なり どちらを選びますか 新聞を読もう 文章に説得力をもたせるには 漢字の広場② たずねびと	たずねびと 漢字の広場③ 方言と共通語 秋の夕 よりよい学校生活のため に	浦島太郎―「御伽草紙」より 和語・漢語・外来語 固有種が教えてくれること 自然環境を守るために カンジー博士の暗号解読	古典の世界（二） 漢字の広場④ やなせたかし アランパンマンの勇氣 あなたは、どう考える 冬の朝	好きな詩のよさを伝えよう 言葉でスケッチ 熟語の読み方 漢字の広場⑤ 想像力のスイッチを入れよう 複合語	言葉を使い分けよう もう一つの物語 「子ども未来科」で何をする	「子ども未来科」で何をする 大造じいさんとガン 漢字の広場⑥ 五年生をふり返って
6年	つないで、つないで、一つのお話 準備 伝わるかな、好きな食べ物 帰り道 公共図書館を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき	聞いて考えを深めよう 漢字の広場① 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	時計の時間と心の時間 文の組み立て たのしみは 天地の文 情報と情報をつながて伝えるとき デジタル機器と私たち	デジタル機器と私たち 夏のさかり 私と本 星空を届けたい	せんねんまんねん 名づけられた葉 いちばん大事なものは インターネットを読もう 文章を推敲しよう 漢字の広場② やまなし イーハトーヴの夢	やまなし イーハトーヴの夢 漢字の広場③ 熟語の成り立ち 秋の深まり みんなで楽しく過ごす ために 話し言葉と書き言葉	狂言「柿山伏」を楽しもう 『鳥獣戯画』を読む 発見、日本文化のみりよく カンジー博士の漢字学習の秘伝	カンジー博士の漢字学習の秘伝 漢字の広場④ ぼくのブック・ウーマン おすすめのパンフレットを作ろう 冬のおとずれ	詩を朗読してしようかいしよう 知ってほしい、この名言 日本の文字文化 漢字の広場⑤ 「考える」とは 使える言葉にするために 日本語の特徴	日本語の特徴 大切にしたい言葉 今、私は、ぼくは	海の命 漢字の広場⑥ 中学校へつなげよう 生きる 人間は他の生物と何がちがうのか
7年	朝のリレー 野原はうたう 声を届けろ／書き留める／言葉を 調べる	シンジュン 【聞く】情報を的確に聞き取る 情報整理のレッスン 比較・分類 情報を整理して書こう わかりやす く説明する 漢字1 漢字の組み立てと部首	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 思考のレッスン1 意見と根拠 話の構成を工夫しよう 好きなこと をスピーチで紹介する 漢字に親しもう2 文法への扉1 言葉のまとまりを考 えよう 情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 言葉1 指示する語句と接続する語句 言葉を集めよう もっと「伝わる」 表現を自ざして 読書を楽しむ 本の中の中学生	大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに 聞き上手になろう 質問で話を引き 出す 項目を立てて書こう 案内文を書く 【推敲】読み手の立場に立つ	言葉2 方言と共通語 漢字2 漢字の音訓 10月「言葉」をもつ鳥、シジュウ カラ 思考のレッスン2 原因と結果 根拠を示して説明しよう 資料を引 用してレポートを書く 漢字に親しもう3 【話し合い】話し合いの 展開を捉える	話題や展開を捉えて話 し合おう グループ・ディスカッ ションをする 音読を楽しもう 大阿蘇 音読を楽しもう いろは歌 蓬菜の玉の枝―「竹取物語」から 今に生きる言葉	「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く 漢字に親しもう4 文法への扉2 言葉の関係を考えよ う 考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約	少年の日の思い出 漢字に親しもう5 文法への扉3 単語の性質を見つけ よう 随筆二編	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 言葉3 さまざまな表現技法 漢字3 漢字の成り立ち	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する さくらのはなびら 学習を振り返ろう

8年	見えないだけ アイスプラネット [聞く]問いを立てながら聞く	枕草子 (季節のしおり 春) 情報整理のレッスン 思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう 職業 ガイドを作る 漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1 クマゼミ増加の原因を探る	思考のレッスン1 具体と抽象 魅力的な提案をしよう 資料を示し てプレゼンテーションをする 漢字に親しもう2 文法への扉1 単語をどう分ける？ メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を 集めよう 「自分で考える時間」をもとう	短歌に親しむ 短歌を味わう [書く] 短歌を作ろう 言葉の力 言葉1 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう もっと「伝わる」 表現を自ざして 読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう	盆土産 (季節のしおり 夏) 字のない葉書 聞き上手になろう 質問で思いや考 えを引き出す 表現を工夫して書こう 手紙や電子 メールを書く [推敲]表現の効果を考える 言葉2 敬語 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	モアイは語る——地球の未来 思考のレッスン2 根拠の吟味 根拠の適切さを考えて書こう 意見 文を書く 漢字に親しもう4 【討論】異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する 音読を楽しもう 月夜の浜辺 (季節のしおり 秋)	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 扇的 ——「平家物語」から 仁和寺にある法師—「徒然草」か ら [書く] 人物の特徴を捉えて論じ よう 漢詩の風景	君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ 魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を 書く 漢字に親しもう5 文法への扉2 走る。走らない。走 らうよ。 研究の現場によるこそ	走れメロス [書く] 作品の魅力をまとめ、語 り合おう (季節のしおり 冬) 漢字に親しもう6 文法への扉3 一字違いで大違い	構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く 言葉3 話し言葉と書き言葉 漢字3 送り仮名	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合 い、壁新聞を作る 木 (学習を振り返ろう)
9年	世界はうつくしいと 握手 [聞く]評価しながら聞く	学びて時に之を習ふ ——「論語」 から 情報整理のレッスン 情報の信頼性 文章の種類を選んで書こう 修学旅 行記を編集する 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1 作られた「物語」を超えて	思考のレッスン 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう2 文法への扉1 すいかは幾つ必要？ 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 言葉1 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ 「私の一冊」を探し にいこう	挨拶——原爆の写真によせて 故郷 聞き上手になろう 質問で相手の思 いに迫る [推敲]論理の展開を整える 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成 語	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 説得力の ある批評文を書く 漢字に親しもう4	【討論】話し合いを効果 的に進める 合意形成 に向けて話し合おう 課題解決のために会議 を開く 音読を楽しもう 初恋 和歌の世界 君待つと一万葉・古 今・新古今 夏草——「おくのほそ道」から 古典名句・名言集 誰かの代わりに	情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く 漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5 文法への扉2 「ない」の違いがわ からない？ 本は世界への扉 エルサルバドルの少女ヘスース 紛争地の看護師	温かいスープ わたしを束ねないで	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする 漢字に親しもう6	学習を振り返ろう

	教材名	指導事項		単元の概要
		思・判・表A(1)ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと	思・判・表A(1)オ 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと	
1年	これはなんでしょう	○	◎	二人で話し合う ○二人で考えを出し合って、問題にする物と、ヒントを出す順番を決める。 ○友達の言ったことを確かめたり、分からないことをきいたりして、相談する。
2年	そうだんにのってください	○	◎	考えを出し合い、話をつなげる ○話題を確かめ、自分の考えを言う。 ○友達の考えと自分の考えの、同じところや違うところを見つける。 ○友達の考えを聞いて思ったことを話したり、質問したりする。

	教材名	指導事項		単元の概要
		思・判・表A(1)ア 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと	思・判・表A(1)オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること	
3年	対話の練習 こんな係がクラスにほしい	○	◎	話し合って、考えを広げる ○全員が意見を出し、互いの考えを認めながら話し合う。 ○出された意見について、質問したり、考えを足したりして、考えを広げる。
	おすすめの一さつを決めよう	○	◎	進行を考えながら話し合う ○初めに、話し合いの目的と、決めること、役割、進め方を確かめる。 ○出た意見の、同じところや違うところを整理しながら進行する。 ○司会の進行に沿って、みんなでどうやって決めるのかを意識しながら話し合い、考えをまとめる。
4年	対話の練習 あなたなら、どう言う	○	◎	自分とは違う立場になって考える ○自分の言葉や行動、考えには、どのような理由があるのかを考える。 ○相手が知っていることや、望んでいること、受け止め方を想像し、言い方を考える。
	クラスみんなで決めるには	○	◎	役割を意識しながら話し合う ○司会グループは、話し合いの目的と課題、進め方を示し、出された意見を整理しながら進行する。 ○提案者や参加者は、自分の考えとその理由を明らかにして、発言したり、質問したりする。 ○整理した意見の中から、目的と決め方に合わせて結論を出す。

	教材名	指導事項		単元の概要
		思・判・表A(1)ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討すること	思・判・表(1)オ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。	
5年	対話の練習 どちらを選びますか		◎	二つの立場から意見を述べ合う ○質問し合って、考えの違いを明確にする。 ○互いの考えのよいところや問題点を比べ、どちらの考えに説得力があるかを考える。
	よりよい学校生活のために	◎	◎	立場の違いを明確にして、計画的に話し合う ○議題を確かめ、進行計画に沿って話し合う。 ○質問を通して互いの考えを詳しく知り、共通点や異なる点をはっきりさせて、考えを広げる。 ○話し合いを整理しながら、決めた条件に沿って考えをまとめる。
6年	対話の練習 いちばん大事なものは		◎	いろいろな考え方を聞いて、自分の考えにいかす ○その人がなぜそのように考えるのか、理由や背景を理解しようとしながら聞く。 ○考えを伝え合うことで、自分の考えがどう広がったり、深まったりしたのかを確かめる。
	みんなで楽しく過ごすために	○	◎	目的や条件に応じて話し合う ○議題について、自分の主張とその理由、根拠を明らかにして発言する。 ○問題点や改善点を明らかにし、目的と条件に照らして、考えをまとめる。 ○考えを広げる話し合いと、まとめる話し合いを通して、結論に向かう。

	教材名	指導事項		単元の概要
		思・判・表A(1)ア 目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること	思・判・表A(1)オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること	
7年	話し合い 話し合いの展開を捉える		◎	話し合いの展開を捉える ○意見と根拠の関係を理解する。
	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする		◎	話題や展開を捉えて話し合う ○意見と根拠を明確にして話し合う。

	教材名	指導事項		単元の概要
		思・判・表A(1)ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること	思・判・表A(1)オ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること	
8年	討論 問いを立てながら聞く		◎	異なる立場や考えを尊重しながら考える ○意見や根拠について検討する。
	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	◎	◎	異なる立場の人と話し合う ○立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べる。
	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る		◎	互いの立場や考えを尊重し、考えをまとめる ○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解して使う。

	教材名	指導事項		単元の概要
		思・判・表(1)ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること	思・判・表(1)オ 進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること	
9年	討論 話し合いを効果的に進める		◎	論点を整理し、展開を捉えて話し合う ○具体化・抽象化の方法を理解して使う。
	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く」		◎	話し合って合意を形成する ○複数の情報や発言を結び付けて考える。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	はるがきた おはなしたのしいな なんていおうかな かくことたのしいな どうぞよろしく こんなものみつけたよ うたにあわせてあいうえお	こえにだしてよもう よくきいて、はなそう ことばをはなそう はなのみち としよかんへいこう かきとかぎ ぶんをつくらう ねことねっこ	わけをはなそう おばさんとおばあさん あいうえおであそぼう つぼみ おもちゃとおもちゃ おおきくなった おおきなかぶ	はをへをつかおう すきなものなあに おむすびころりん としよかんとなかよし	こえをあわせてよもう みんなにしらせよう ことばをみつけよう やくそく かたかなをみつけよう うみのかくれんぼ かずとかんじ	くじらくも まちがいなを いらせたいな、見せたいな かん字のはなし ことばをたのしもう	ことばをたのしもう じどう車くらべ じどう車ずかんをつくろう かたかなをかこう どんなおはなしができるかな たぬきの糸車	たぬきの糸車 日づけとよう日 てがみでしらせよう むかしはなしをよもう おかゆのおなべ	なりきってよもう くわしくきこう ことばであそぼう どうぶつのお名前 もののなまえ	わらしべちようじゃ かたかなのかたち ことばあそびをつくらう これは、なんでしょう ずうっと、ずっと、大すきだよ	ずうっと、ずっと、大すきだよ にているかん字 いいこといっぱい一年生
2年	じゅんばんに並ぼう 絵を見てかこう ふきのとう 図書館たんけん 春がいっぱい 日記を書こう ともだちはどこかな	ともだちはどこかな たんぼほのちえ かんざつ名人になろう	いなばの白うさぎ 同じぶんをもつかん字 スイミー かん字のひろば① メモをとるとき こんなもの見つけたよ	こんなもの見つけたよ あったらいいな、こんなもの 夏がいっぱい ミリーのすてきなぼうし	雨のうた ことばでみちあんない みの回りのものを読もう 書いたら、見直そう かん字のひろば② どうぶつ園のじゅうい かたかなのひろば ことばあそびをしよう	なかまのことばとかん字 かん字のひろば③ お手紙 主語と述語に気をつけよう かん字の読み方 秋がいっぱい そうだんにのってください	そうだんにのってください 紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう にたいみのことば、ほんたいのいみのことば せかいーの話 かん字の広場④ みきのたからもの	みきのたからもの お話のさくしゃになろう 冬がいっぱい	ねこのこ かたかなで書くことば ことばを楽しもう ロボット ようすをあらわすことば 見たこと、かんじたこと	見たこと、かんじたこと カンジーはかせの大はつめい すてきなところをつたえよう スーホの白い馬	スーホの白い馬 かん字の広場⑤ 楽しかったよ、二年生 二年生をふりかえって
3年	よく聞いて、じこしょうかい どきん わたしのさいごうの一日 春風をたどって 図書館たんていだん 国語辞典を使おう 漢字の広場① 春のくらし	もつと知りたい友だちのこと 漢字の音と訓 漢字の広場② こまを楽しむ	気持ちをこめて「来てください」 漢字の広場③ まいごのかぎ 俳句を楽しもう こそあど言葉を使いこなそう 引用するとき	仕事の工夫、見つけたよ 鳥のくらし 鳥になつたきょうりゅうの話	わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる こんな係がクラスにほしい ポスターを読もう 書くことを考えるときは 漢字の組み立て ローマ字 ちいちゃんのかげおくり	ちいちゃんのかげおくり 修飾語を使って書こう 秋のくらし おすすめの一さつを決めよう	すがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えよう ことわざ・故事成語 漢字の意味 短歌を楽しもう 漢字の広場④	三年とうげ わたしの町のよいところ 冬のくらし	詩のくふうを楽しもう 四まいの絵を使って カンジーはかせの音訓かるた 漢字の広場⑤ ありの行列 つたわる言葉で表そう	つたわる言葉で表そう たから島のぼうけん お気に入りの場所、教えます	モチモチの木 漢字の広場⑥ 三年生をふり返って
4年	力を合わせてはらばらに 春のうた なりきって書こう 白いぼうし 図書館の達人になろう 漢字辞典を使おう 春の楽しみ	聞き取りメモのくふう カンジーはかせの都道府県の旅1 漢字の広場① 思いやりのデザイン アップとルーズで伝える	お礼の気持ちを伝えよう 漢字の広場② 一つの花 つなぎ言葉のはたらきを知ろう 短歌・俳句に親しもう (一) 要約するとき 新聞を作ろう	新聞を作ろう アンケート調査のしかた カンジーはかせの都道府県の旅2 夏の楽しみ 本のポップや帯を作ろう 神様の階段	忘れもの ぼくは川 あなたなら、どう言う パンフレットを読もう どう直したらいいかな いろいろな意味をもつ言葉 ローマ字を使いこなそう 漢字の広場③ ごんぎつね	ごんぎつね 漢字を正しく使おう 秋の楽しみ クラスみんなで決めるには	未来につなぐ工芸品 工芸品のみりょくを伝えよう 慣用語 短歌・俳句に親しもう (二) 漢字の広場④	友情のかべ新聞 もしものときにそなえよう 冬の楽しみ	自分だけの詩集を作ろう 言葉から連想を広げて 熟語の意味 漢字の広場⑤ 風船でうちゅうへ	つながりに気をつけよう 心が動いたことを言葉に 調べて話そう、生活調査隊	調べて話そう、生活調査隊 スワンレイクのほとりで 漢字の広場⑥ 四年生をふり返って
5年	ひみつの言葉を引き出そう かんがえるのっておもしろい 名前を使って、自己しょうかい 銀色の裏地 図書館を使いこなそう 漢字の成り立ち 春の空	きいて、きいて、きいてみよう 見立てる 言葉の意味が分かること	言葉の意味が分かること 敬語 日常を十七音で 漢字の広場① 夏の花 つなぎ言葉のはたらきを知ろう 短歌・俳句に親しもう (一) 要約するとき みんなが使いやすいデザイン	みんなが使いやすいデザイン 同じ読み方の漢字 夏の夜 作家で広げるわたしたちの読書／メモ モ	かぼちゃのつるが われは草なり どちらを選びますか 新聞を読もう 文章に読得力をもたせるには 漢字の広場② たずねびと	たずねびと 漢字の広場③ 方言と共通語 秋の夕 よりよい学校生活のために	浦島太郎―「御伽草紙」より 和語・漢語・外来語 固有種が教えてくれること 自然環境を守るために カンジー博士の暗号解説	古典の世界 (二) 漢字の広場④ やなせたかし ―アンパンマンの勇氣 あなたは、どう考える 冬の朝	好きな詩のよさを伝えよう 言葉でスケッチ 熟語の読み方 漢字の広場⑤ 想像力のスイッチを入れよう 複合語	言葉を使い分けよう もう一つの物語 「子ども未来科」で何をする	「子ども未来科」で何をする 大造じいさんとガン 漢字の広場⑥ 五年生をふり返って
6年	つないで、つないで、一つのお話 準備 伝わるかな、好きな食べ物 帰り道 公共図書館を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき	聞いて考えを深めよう 漢字の広場① 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	時計の時間と心の時間 文の組み立て たのしみは 天地の文 情報と情報をつながて伝えるとき デジタル機器と私たち	デジタル機器と私たち 夏のさかり 私と本 星空を届けたい	せんねんまんねん 名づけられた葉 いちばん大事なものは インターネットを読もう 漢字の広場② やまなし イーハトーヴの夢	やまなし イーハトーヴの夢 漢字の広場③ 熟語の成り立ち 秋の深まり みんなで楽しく過ごすために 話し言葉と書き言葉	狂言「柿山伏」を楽しもう 『鳥獣戯画』を読む 発見、日本文化のみりょく カンジー博士の漢字学習の秘伝	カンジー博士の漢字学習の秘伝 漢字の広場④ ほくのブック・ウーマン おすすめのパンフレットを作ろう 冬のおとずれ	詩を朗読してしようかいしよう 知ってほしい、この名言 日本の文字文化 漢字の広場⑤ 「考える」とは 使える言葉にするために 日本語の特徴	日本語の特徴 大切にしたい言葉 今、私は、ほくは	海の命 漢字の広場⑥ 中学校へつなげよう 生きる 人間は他の生物と何がちがうのか
7年	朝のリレー 野原はうたう 声を届ける／書き留める／言葉を調べる	シンシユン 【聞く】情報を的確に聞き取る 情報整理のレッスン 比較・分類 情報を整理して書こう わかりやすく説明する 漢字 1 漢字の組み立てと部首	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 思考のレッスン 1 意見と根拠 話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する 漢字に親しもう 2 文法への扉 1 言葉のまとまりを考えよう 情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 言葉 1 指示する語句と接続する語句 言葉を集めよう もっと「伝わる」 表現を旨として 漢字に親しもう 本の中の中学生 読書を楽しむ 本の中の中学生	大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに 聞き上手になろう 質問で話を引き出す 項目を立てて書こう 案内文を書く 【推敲】読み手の立場に立つ	言葉 2 方言と共通語 漢字 2 漢字の音訓 10月「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 思考のレッスン 2 原因と結果 根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く 漢字に親しもう 3 【話し合い】話し合いの展開を捉える	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする 音読を楽しもう 大阿蘇 音読を楽しもう いろは歌 蓬菜の玉の枝―「竹取物語」から 今に生きる言葉	「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く 漢字に親しもう 4 文法への扉 2 言葉の関係を考えよう 考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約	少年の日の思い出 漢字に親しもう 5 文法への扉 3 単語の性質を見つめよう 随筆二編	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 言葉 3 さまざまな表現技法 漢字 3 漢字の成り立ち	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する さくらはなびら 学習を振り返ろう

8年	見えないだけ アイスプラネット [聞く]問いを立てながら聞く	枕草子 (季節のしおり 春) 情報整理のレッスン 思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る 漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1 クマゼミ増加の原因を探る	思考のレッスン1 具体と抽象 魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする 漢字に親しもう2 文法への扉1 単語をどう分ける？ メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう	短歌に親しむ 短歌を味わう [書く]短歌を作ろう 言葉の力 言葉1 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう もっと「伝わる」 表現を自覚して 読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう	盆土産 (季節のしおり 夏) 字のない葉書 聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す 表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く [推敲]表現の効果を考える 言葉2 敬語 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	モアイは語る——地球の未来 思考のレッスン2 根拠の吟味 根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く 漢字に親しもう4 [討論]異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する 音読を楽しもう 月夜の浜辺 (季節のしおり 秋)	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 願的 ——「平家物語」から 仁和寺にある法蘭西「徒然草」から [書く]人物の特徴を捉えて論じよう 漢詩の風景	君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ 魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く 漢字に親しもう5 文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 研究の現場によるこそ	走れメロス 【書く】作品の魅力をまとめ、語り合おう (季節のしおり 冬) 漢字に親しもう6 文法への扉3 一字違いで大違い	構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く 言葉3 話し言葉と書き言葉 漢字3 送り仮名	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る 木 (学習を振り返ろう)
9年	世界はうつくしいと握手 [聞く]評価しながら聞く	学びて時に之を習ふ ——「論語」から 情報整理のレッスン 情報の信頼性 文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1 作られた「物語」を超えて	思考のレッスン 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう2 文法への扉1 すいかは幾つ必要？ 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 言葉1 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう	挨拶——原爆の写真によせて 故郷 聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る [推敲]論理の展開を整える 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く 漢字に親しもう4	[議論]話し合いを効果的に進める 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く 音読を楽しもう 初恋 和歌の世界 君待つと一万葉・古今・新古今 夏草——「おくのほそ道」から 古典名句・名言集 誰かの代わりに	情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く 漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5 文法への扉2 「ない」の違いがわからない？ 本は世界への扉 エルサルバドルの少女ヘスース 紛争地の看護師	温かいスープ わたしを束ねないで	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする 漢字に親しもう6	学習を振り返ろう

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり、必要な事柄を集めたりして、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	思・判・表B(1)ウ 語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	思・判・表B(1)エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりすること。	思・判・表B(1)オ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。	
1年	しらせたいな、見せたいな	◎		○			見つけたことを書く ○知らせたいものをよく見て、見つけたことを書く。
	じどう車ずかんをつくらう		◎				順序に気をつけて書く ○説明の順に気をつけると、分かりやすくなる。
	いいこといっぱい一年生	○	◎				分かりやすく書く ○まとまりに分けて書く。 ・最初に、あったことを短く書く。 ・次に、詳しく思い出したことを書く。 ・最後に、思ったことを書く。
2年	かんざつ名人になろう	◎					観察したことを書く ○見たり、触ったり、においをかいだりして、丁寧に観察する。 ○観察したことを、詳しく書く。
	こんなもの、見つけたよ		◎				組み立てを考えて書く ○人に何かを知らせる文章は、次のようなまとまりで、順序を考えるとよい。 ・初め 一知らせたいこと ・中 一知らせたいことの、詳しい説明 ・終わり 一まとめの言葉
	おもちゃの作り方をせつめいしよう			◎			順序が分かるように書く ○まとまりがはっきり分かるように書く。 ○順序が分かる言葉を使って書く。

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつかって文章の構成を考えること。	思・判・表B(1)ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	思・判・表B(1)エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。	思・判・表B(1)オ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけること。	
3年	仕事のくふう、見つけたよ	◎		○			読む人のことを考えて、書くことを選ぶ ○メモに書いておいたことの中から、自分が特に伝えたいことを選ぶ。 ○読む人が知っていることと、知りたいたらうことを考える。
	書くときに使おう 書くことを考えるときには	◎					図を使って、何を書くかを考える ○思いついたことを、線でつなぎながら書く。 ○詳しく書き出したことの中から、いちばん伝えたいことを選ぶ。
	食べ物のひみつを教えます		◎				分かりやすい組み立てを考える ○「初め」で話題を示し、内容のまとまりごとに、段落を分ける。 ○伝えたいことに合った例を選び、読む人に分かりやすい順序を考える。
	わたしの町のよいところ					◎	書いた文章の感想を伝え合う ○伝えようとしていることが分かりやすく書かれているかなど、内容や書き方について思ったことを詳しく伝える。 ○感想を伝え合うことで、自分の文章の、内容や書き方のよい点を見つける。
4年	新聞を作ろう	○	◎		○		知らせたいことの見せ方を工夫する ○何を写真や図などで示すとよいかを考える。 ○知らせたいことや、記事の読みやすさを考えて、見出しや本文、写真や図などの割付を考える。
	書くときに使おう どう直したらいいかな				◎		相手や目的に応じて、文章を見直す ○内容のまとまりごとに段落を分ける。 ○「です・ます」と、「だ・である」をそろえる。 ○読む人が知らない言葉や漢字がないか、目的に合う文章になっているかを考える。
	工芸品のみりょくを伝えよう			◎			伝えたいことを分かりやすく書く ○調べたことを整理し、伝えたいことをはっきりさせる。 ○考えが分かりやすく伝わるように、具体例や写真などを使って書く。
	もしものときにそなえよう			◎		◎	理由や例を挙げて、自分の考えを書く ○調べたことを整理し、その中から、自分の考えを伝えるのにふさわしい理由や例を選ぶ。 ○理由や例と、自分の考えとの関係が分かるような言葉を用いるなど、工夫して書く。

	教材名	指導事項						単元の概要
		思・判・表B(1)ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。	思・判・表B(1)ウ 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	思・判・表B(1)エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	思・判・表B(1)オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。	思・判・表B(1)カ ◎文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけること。	
5年	みんなが使いやすいデザイン	◎						目的に沿って、集めた情報を整理する。 ○読む人のことや、伝えたいことを考えて、集めた情報を整理する。 ○伝えたいことに沿って、必要な情報とそうでない情報とを区別したり、情報の内容ごとにまとまりを作ったりする。
	書くときに使おう 文章に説得力をもたせるには		◎					説得力のある構成を考える ○意見文を書くときには、主張と根拠を明らかにする。 ○文章のどこに主張を示すか、予想される反論とそれに対する考えをどう示すかなどを工夫する。
	自然環境を守るために				◎			グラフや表を用いて、考えを書く ○自分の考えにあった資料を選ぶ。 ○資料と文章との対応が伝わるように書く。 ○資料から分かることと、自分が考えたことを、区別して書く。
	あなたはどうか考える			○			◎	文章のよいところを見つける ○目的にあった構成で書かれているか、伝えたいことは明確かなどについて、感想を具体的に伝える。 ○感想を伝え合うことで、互いの文章のよいところを見つける。
6年	デジタル機器と私たち		◎					説得力のある構成で、提案する文章を書く ○自分の体験や、調べて分かったことから、課題や提案内容を導き出す。 ○提案内容と、その根拠となる事実とを結び付けて、分かりやすく伝わるように構成する。
	書くときに使おう 文章を推敲しよう					◎		読む人を意識して推敲する 次のことに気をつけて、文章全体を見直す。 ○伝えたいことを、具体的に書いているか。 ○伝えたいことを理解してもらえる構成になっているか。 ○事実と感想や意見とを区別しているか。 ○引用のしかたや、文と文のつながりは適切か。
	発見、日本文化のみりよく			◎				目的や意図に応じて、効果的に伝える ○伝えたいことが分かりやすい構成や表現、写真などの使い方を考える。 ○目的や意図に応じて、簡単に書いたり、詳しく書いたりする。
	おすすめパンフレットを作ろう				◎			書き表し方を工夫して、推薦する文章を書く ○相手や目的、推薦する理由を明確にする。 ○読む人を引きつける言葉で表現し、伝えたいことに合った文章を引用したり、写真などを用いたりする。

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。	思・判・表B(1)ウ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	思・判・表B(1)エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。	思・判・表B(1)オ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	
7 年	情報を整理して書こう わかりやすく説明する	◎					伝えたいことを明確にして伝える ○集めた情報を、比較・分類して整理する。
	情報を引用しよう	◎					情報を適切に引用する ○引用や出典について理解して用いる。
	根拠を示して説明しよう		◎	◎			根拠を明確にして自分の考えを伝える ○本や資料から文章や図表を引用する。
	今に生きる言葉		◎				故事成語を使って体験文を書く ○古典の世界に親しむ。
	「不便」の価値を見つめ直す			◎			根拠を明確にして意見をまとめる ○意見と根拠の関係を意識する。 ○要約や引用を適切にする。
	助言を自分の文章に生かそう					◎	助言を基に文章をよりよくなる ○書評を書き、交流することを通して、自分の考えや読書の幅を広げる。
	一年間の学びを振り返ろう	◎					集めた情報からテーマを決める ○情報の整理の仕方について理解する。

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表B(1)ア ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。	思・判・表B(1)ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	思・判・表B(1)エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。	
8年	多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	◎				多様な情報を集め、考えをまとめる ○多様な方法で様々な情報を収集する。
	情報社会を生きる メディアの特徴を生かして情報を集めよう	◎				目的や意図に応じて、多様な方法で情報を集める ○情報と情報の関係のさまざまな表し方を理解して使う。
	根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く			◎		適切な根拠を選び、構成などを工夫して明確な意見文を書く ○自分の意見を支えるためのより適切な根拠の在り方について考える。
	仁和寺にある法師 学習		◎			人物の特徴をとらえて論じる ○古典に表れたものの見方や考え方を知る。
	魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く			◎	◎	作品の魅力を効果的に伝える ○語感を磨き、作品の魅力を語る ○語彙を豊かにする。
	走れメロス 学習			◎		作品の魅力をまとめ、語り合う ○抽象的な概念を表す語句が、作品に与える印象を考える。
国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る		◎		◎	考えをわかりやすく伝える ○文章の構成や展開について理解する。	

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表B(1)ア ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。	思・判・表B(1)ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。	思・判・表B(1)エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。	
9年	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く		◎	◎		説得力のある批評文を書く ○具体的な題材を基にその価値などについて評価する。
	情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く				◎	小論文で自分の考えを書く ○具体的な情報に基づいて、自分の考えをまとめる。

令和6年度年間指導計画 【国語】

書くこと

実用的な文章

2024/1/7 作成中

北区立都の北学園

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	はるがきた おはなしたのしいな なんていおうかな かくことたのしいな どうぞよろしく こんなものみつけたよ うたにあわせてあいうえお	こえにだしてよもう よくきいて、はなそう ことばをはなそう はなのみち としよかんへいこう かきとかぎ ぶんをつくらう ねことねっこ	わけをはなそう おばさんとおばあさん あいうえおであそぼう つぼみ おもちゃとおもちゃ おおきくなった おおきなかぶ	はをへをつかおう すきなものなあに おむすびころん としよかんとなかよし	こえをあわせてよもう みんなにしらせよう ことばをみつけよう やくそく かたかなをみつけよう うみのかくれんぼ かずとかんじ	くじらくも まちがいをなおそう しらせたいな、見せたいな かん字のはなし ことばをたのしもう	ことばをたのしもう じどう車くらべ じどう車ずかんをつくらう かたかなをかこう どんなおはなしができるかな たぬきの糸車	たぬきの糸車 日づけとよう日 てがみでしらせよう わかしばなしをよもう おかゆのおなべ	なりきってよもう くわしくきこう ことばであそぼう どうぶつのお赤ちゃん ものなまえ	わらしべちょうじゃ かたかなのかたち ことばあそびをつくらう これは、なんでしょう ずらっと、ずらっと、大すきだよ	ずらっと、ずらっと、大すきだよ にているかん字 いいこといっぱい一年生
2年	じゅんばんに並ぼう 絵を見てかこう ふきのとう 図書館たんけん 春がいっぱい 日記を書こう ともだちはどこかな	ともだちはどこかな たんぼほのちえ かんざつ名人にならう	いなばの白うさぎ 同じぶぶんをもつかん字 スイミー かん字のひろば① メモをとるとき こんなもの見つけたよ	こんなもの見つけたよ あったらいいな、こんなもの 夏がいっぱい ミリーのすてきなぼうし	雨のうた ことばでみちあない みの回りのものを読もう 書いたら、見直そう かん字のひろば② どうぶつ園のじゅうい かたかなのひろば ことばあそびをしよう	なかまのことばとかん字 かん字のひろば③ お手紙 主語と述語に気をつけよう かん字の読み方 秋がいっぱい そらだんにのってください	そらだんにのってください 紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう にたいみのことば、ほんたいのいみ のことば せかいーの話 かん字の広場④ みきのたからもの	みきのたからもの お話のさくしやにならう 冬がいっぱい	ねこのこ かたかなで書くことば ことばを楽しもう ロボット ようすをあらわすことば 見たこと、かんじたこと	見たこと、かんじたこと カンジーはかせの大はつめい すてきなところをつたえよう スーホの白い馬	スーホの白い馬 かん字の広場⑤ 楽しかったよ、二年生 二年生をふりかえって
3年	よく聞いて、じこしょうかい どきん わたしのさいごうの一日 春風をたどって 図書館たんていだん 国語辞典を使おう 漢字の広場① 春のくらし	もっと知りたい友だちのこと 漢字の音と訓 漢字の広場② こまを楽しむ	気持ちよこめて「来てください」 漢字の広場③ まいごのかぎ 俳句を楽しもう こそあど言葉を使いこなそう 引用するとき	仕事の工夫、見つけたよ 夏のくらし 鳥になったきょうりゅうの話	わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる こんな係がクラスにほしい ポスターを読もう 書くことを考えるときは 漢字の組み立て ローマ字 ちいちゃんのかげおくり	ちいちゃんのかげおくり 修飾語を使って書こう 秋のくらし おすすめの一さつを決めよう	すがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えます ことわざ・故事成語 漢字の意味 短歌を楽しもう 漢字の広場④	三年とうげ わたしの町のよいところ 冬のくらし	詩のくふうを楽しもう 四まいの絵を使って カンジーはかせの音訓かるた 漢字の広場⑤ ありの行列 つたわる言葉で表そう	つたわる言葉で表そう たから島のぼうけん お気に入りの場所、教えます	モチモチの木 漢字の広場⑥ 三年生をふり返って
4年	力を合わせてばらばらに 春のうた なりきって書こう 白いぼうし 図書館の達人にならう 漢字辞典を使おう 春の楽しみ	聞き取りメモのくふう カンジーはかせの都道府県の旅1 漢字の広場① 思いやりのデザイン アップとルーズで伝える	お礼の気持ちを伝えよう 漢字の広場② 一つの花 つなぎ言葉のはたらきを知らう 短歌・俳句に親しもう (一) 要約するとき 新聞を作らう	新聞を作らう アンケート調査のしかた カンジーはかせの都道府県の旅2 夏の楽しみ 本のポップや帯を作らう 神様の階段	忘れもの ぼくは川 あなたなら、どう言う パンフレットを読もう どう直したらいいかな いろいろな意味をもつ言葉 ローマ字を使いこなそう 漢字の広場③ ごんぎつね	ごんぎつね 漢字を正しく使おう 秋の楽しみ クラスみんなで決めるには	未来につなぐ工芸品 工芸品のみりよくを伝えよう 慣用句 短歌・俳句に親しもう (二) 漢字の広場④	友情のかべ新聞 もしものときにそなえよう 冬の楽しみ	自分だけの詩集を作らう 言葉から連想を広げて 熟語の意味 漢字の広場⑤ 風船でうちゅうへ	つながりに気をつけよう 心が動いたことを言葉に 調べて話そう、生活調査隊	調べて話そう、生活調査隊 スワンレイクのほとりで 漢字の広場⑥ 四年生をふり返って
5年	ひみつの言葉を引き出そう かんがえるのっておもしろい 名前を使って、自己しょうかい 銀色の裏地 図書館を使いこなそう 漢字の成り立ち 春の空	きいて、きいて、きいてみよう 見立てる 言葉の意味が分かること	言葉の意味が分かること 敬語 日常を十七音で 漢字の広場① 古典の世界 (一) 目的に応じて引用するとき みんなが使いやすいデザイン	みんなが使いやすいデザイン 同じ読み方の漢字 夏の夜 作家で広げるわたしたちの読書/メモ	かぼちゃのつるが われは草なり どちらを選びますか 新聞を読もう 文章に説得力をもたせるには 漢字の広場② たずねびと	たずねびと 漢字の広場③ 方言と共通語 秋の夕 よりよい学校生活のために	浦島太郎ー「御伽草紙」より 和語・漢語・外来語 固有種が教えてくれること 自然環境を守るために カンジー博士の暗号解読	古典の世界 (二) 漢字の広場④ やなせたかし アーンパンマンの勇氣 あなたは、どう考える 冬の朝	好きな詩のよさを伝えよう 言葉でスケッチ 熟語の読み方 漢字の広場⑤ 想像力のスイッチを入れよう 複合語	言葉を使い分けよう もう一つの物語 「子ども未来科」で何をする	「子ども未来科」で何をする 大造じいさんとガン 漢字の広場⑥ 五年生をふり返って
6年	つないで、つないで、一つのお話 準備 伝わるかな、好きな食べ物 帰り道 公共図書館を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき	聞いて考えを深めよう 漢字の広場① 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	時計の時間と心の時間 文の組み立て たのしみは 天地の文 情報と情報をつながて伝えるとき デジタル機器と私たち	デジタル機器と私たち 夏のさかり 私と本 星空を届けたい	せんねんまんねん 名づけられた葉 いちばん大事なものは インターネットを読もう 文章を推敲しよう 漢字の広場② やまなし イーハトーヴの夢	やまなし イーハトーヴの夢 漢字の広場③ 熟語の成り立ち 秋の深まり みんなて楽しく過ごすために 話し言葉と書き言葉	狂言「柿山伏」を楽しもう 『鳥獣戯画』を読む 発見、日本文化のみりよく カンジー博士の漢字学習の秘伝	カンジー博士の漢字学習の秘伝 漢字の広場④ ぼくのブック・ウーマン おすすめのパンフレットを作らう 冬のおとずれ	詩を朗読してしようかいしよう 知ってほしい、この名言 日本の文字文化 漢字の広場⑤ 「考える」とは 使える言葉にするために 日本語の特徴	日本語の特徴 大切にしたい言葉 今、私は、ぼくは	海の命 漢字の広場⑥ 中学校へつなげよう 生きる 人間は他の生物と何がちがうのか
7年	朝のリレー 野原はうたう 声を届けろ／書き留める／言葉を調べる	シンジュン 【聞く】情報を的確に聞き取る 情報整理のレッスン 比較・分類 情報を整理して書こう わかりやすく説明する 漢字1 漢字の組み立てと部首	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 思考のレッスン1 意見と根拠 話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する 漢字に親しもう2 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 言葉1 指示する語句と接続する語句 言葉を集めよう もっと「伝わる」 表現を自覚して 読書を楽しむ 本の中の中学生	大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに 聞き上手にならう 質問で話を引き出す 項目を立てて書こう 案内文を書く 【推敲】読み手の立場に立つ	言葉2 方言と共通語 漢字2 漢字の音訓 10月「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 思考のレッスン2 原因と結果 根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く 漢字に親しもう3 【話し合い】話し合いの展開を捉える	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする 音読を楽しもう 大阿蘇 音読を楽しもう いろは歌 蓮菜の玉の枝——「竹取物語」から 今に生きる言葉	「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く 漢字に親しもう4 文法への扉2 言葉の関係を考えよう 考える人にならう 君たちはどう生きるか たのしい制約	少年の日の思い出 漢字に親しもう5 文法への扉3 単語の性質を見つけよう 随筆二編	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 言葉3 さまざまな表現技法 漢字3 漢字の成り立ち	一年間の学びを振り返らう 要点をフリップにまとめ、発表する さくらのはなびら 学習を振り返らう

<p>8年</p>	<p>見えないだけ アイスプラネット [聞く]問いを立てながら聞く</p>	<p>枕草子 (季節のしおり 春) 情報整理のレッスン 思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう 職業 ガイドを作る 漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1 クマゼミ増加の原因を探る</p>	<p>思考のレッスン1 具体と抽象 魅力的な提案をしよう 資料を示し てプレゼンテーションをする 漢字に親しもう2 文法への扉1 単語をどう分ける？ メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を 集めよう 「自分で考える時間」をもとう</p>	<p>短歌に親しむ 短歌を味わう [書く] 短歌を作ろう 言葉の力 言葉1 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう もっと「伝わる」 表現を旨ざして 読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう</p>	<p>盆土産 (季節のしおり 夏) 字のない葉書 聞き上手になろう 質問で思いや考 えを引き出す 表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書 く [推敲]表現の効果を考 える 言葉2 敬語 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3</p>	<p>モアイは語る——地球の未来 思考のレッスン2 根拠の吟味 根拠の適切さを考えて書こう 意見 文を書く 漢字に親しもう4 [討論]異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する 音読を楽しもう 月夜の浜辺 (季節のしおり 秋)</p>	<p>源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 扇的 ——「平家物語」から 仁和寺にある法師—「徒然草」か ら [書く] 人物の特徴を捉えて論じ よう 漢詩の風景</p>	<p>君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ 魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を 書く 漢字に親しもう5 文法への扉2 走る。走らない。走 らうよ。 研究の現場によるこそ</p>	<p>走れメロス [書く] 作品の魅力をまとめ、語 り合おう (季節のしおり 冬) 漢字に親しもう6 文法への扉3 一字違いで大違い</p>	<p>構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く 言葉3 話し言葉と書き言葉 漢字3 送り仮名</p>	<p>国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を 作る 木 (学習を振り返ろう)</p>
<p>9年</p>	<p>世界はうつくしいと 握手 [聞く]評価しながら聞く</p>	<p>学びて時に之を習ふ ——「論語」 から 情報整理のレッスン 情報の信頼性 文章の種類を選んで書 こう 修学旅行記を編 集する 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1 作られた「物語」を超えて</p>	<p>思考のレッスン 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう2 文法への扉1 すいかは幾つ必要？ 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読も う</p>	<p>俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 言葉1 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ 「私の一冊」を探し にいこう</p>	<p>挨拶——原爆の写真によせて 故郷 聞き上手になろう 質問で相手の思 いに迫る [推敲]論理の展開を 整える 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成 語</p>	<p>漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 説得力の ある批評文を書く 漢字に親しもう4</p>	<p>[議論]話し合いを効果的に進める 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く 音読を楽しもう 初恋 和歌の世界 君待つと一万葉・古 今・新古今 夏草—「おくのほそ 道」から 古典名句・名言集 誰かの代わりに</p>	<p>情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く 漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5 文法への扉2 「ない」の違いがわ からない？ 本は世界への扉 エルサルバドルの少女ヘスース 紛争地の看護師</p>	<p>温かいスープ わたしを束ねないで</p>	<p>三年間の歩みを振り返 ろう 冊子にまとめて、発表 会をする 漢字に親しもう6</p>	<p>学習を振り返ろう</p>

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	思・判・表B(1)ウ 語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	思・判・表B(1)エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりすること。	思・判・表B(1)オ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。	
1年	てがみでしらせよう			○	◎		手紙を書く ○したことや思ったことなど、知らせたいことを書く。 ○字や言葉の間違いがないか、読み返す。
2年	日記を書こう	◎					日記に書くこと ○したこと ○見たこと、見つけたもの ○言ったこと、聞いたこと
	書くときに使おう 書いたら、見直そう				◎		書いた文章を見直す ○文章を書いたら、声に出して読むなどして、見直す。 ○丸、点、かぎの使い方や、文字の間違いがないかを確かめる。
	すてきなところをつたえよう			◎			思いが伝わるように書く ○内容のまとまりに気をつけて、伝えたいことをはっきり書く。 ○相手のどんなところについて、自分がどう思ったのかを、分かりやすく書く。

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつかって文章の構成を考えること。	思・判・表B(1)ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	思・判・表B(1)エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。	思・判・表B(1)オ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけること。	
3年	気持ちをこめて「来てください」				◎		読み返して、文章を整える ○相手にとって必要なことや、自分が伝えたいことが書かれているかを確かめる。 ○間違いや分かりにくいところはないか、相手に合わせた言葉を使っているかを確かめる。
4年	お礼の気持ちを伝えよう	◎					手紙で気持ちを伝える ○手紙を書く目的を明らかにし、伝えたいことを詳しく思い出す。 ○相手に対する気持ちがよりよく伝わるように、書く内容を考える。

	教材名	指導事項						単元の概要
		思・判・表B(1)ア	思・判・表B(1)イ	思・判・表B(1)ウ	思・判・表B(1)エ	思・判・表B(1)オ	思・判・表B(1)カ	
		目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすること。	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。	◎文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけること。	
5年								
6年	書くときに使おう 知ってほしい、この名 句	◎						伝えたいことを、比べて選ぶ ○観点を立てて、集めた材料がその観点に対して、どのような位置づけになるかを、図を使って比べる。 ○自分にとっての意味や、伝えたい理由をはっきりさせて、伝えるものの優先順位をつける。
	大切にしたい言葉			◎				自分の思いを的確に伝える ○自分の経験や思いが、読む人に分かるように、書き分けたり、詳しく書いたりする。 ○自分の思いを伝えるのにふさわしい言葉を選んだり、文章の調子などの点から現を工夫したりして書く。

	教材名	指導事項						単元の概要
		思・判・表B(1)ア	思・判・表B(1)イ	思・判・表B(1)ウ	思・判・表B(1)エ	思・判・表B(1)オ		
		◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。	根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。	◎根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。		
7年	項目を立てて書こう 案内文を書く	◎					情報を整理しわかりやすい案内文を書く ○事例・目的・相手に応じた、情報の整理のしかたを理解する。	
	推敲 読み手の立場に立つ				◎		読み手の立場に立って推敲する ○語感を磨き、語彙を豊かにする。	

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。	思・判・表B(1)ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	思・判・表B(1)エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。	思・判・表B(1)オ 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	
8年	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く			◎			通信文(手紙・電子メール)を書く ○敬語の働きを理解し、適切に使う。
	推敲 表現の効果を考える				◎		表現の効果に着目して推敲する ○敬語の働きを理解し、適切に使う。

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。	思・判・表B(1)ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。	思・判・表B(1)エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。	思・判・表B(1)オ 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	
9年	文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する	◎	◎				文章の種類を選び、構成を工夫して魅力的な紙面を編集する ○文章の種類とその特徴について理解を深める。
	情報社会を生きる 報道文を比較して読もう	◎					報道文を比較して読む ○情報の信頼性の確かめ方を理解する。
	推敲 論理の展開を整える				◎		論理の展開に着目し、文章を整える ○情報と情報との関係について理解を深める。
	夏草 学習		◎				古典の言葉を引用し、メッセージを贈る ○歴史的背景などに注意して古典を読む。 ○古典の一節を引用して使う。
	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする		◎				文章の構成を工夫する ○語感を磨き、語彙を豊かにする。

令和6年度年間指導計画 【国語】

書くこと

文学的な文章

2024/1/7 作成中

北区立都の北学園

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	はるがきた おはなしたのしいな なんていおうかな かくことたのしいな どうぞよろしく こんなものみつけたよ うたにあわせてあいうえお	こえにだしてよもう よくきいて、はなそう ことばをはなそう はなのみち としよかんへいこう かきとかぎ ぶんをつくらう ねことねっこ	わけをはなそう おばさんとおばあさん あいうえおであそぼう つぼみ おもちゃとおもちゃ おおきくなった おおきなかぶ	はをへをつかおう すきなものなあに おむすびころりん としよかんとなかよし	こえをあわせてよもう みんなにしらせよう ことばをみつけよう やくそく かたかなをみつけよう うみのかくれんぼ かずとかんじ	くじらくも まちがいをなおそう しらせたいな、見せたいな かん字のはなし ことばをたのしもう	ことばをたのしもう じどう車くらべ じどう車ずかんをつくらう かたかなをかこう どんなおはなしができるかな たぬきの糸車	たぬきの糸車 日づけとよう日 てがみでしらせよう むかしはなしをよもう おかゆのおなべ	なりきってよもう くわしくきこう ことばであそぼう どうぶつのおちゃん もののなまえ	わらしべちょうじゃ かたかなのかたち ことばあそびをつくらう これは、なんでしょう ずらっと、ずらっと、大すきだよ	ずらっと、ずらっと、大すきだよ にているかん字 いいこといっぱい一年生
2年	じゅんばんに並ぼう 絵を見てかこう ふきのとう 図書館たんけん 春がいっぱい 日記を書こう ともだちはどこかな	ともだちはどこかな たんぼほのちえ かんざつ名人にならう	いなばの白うさぎ 同じぶんをもつかん字 スイミー かん字のひろば① メモをとるとき こんなもの見つけたよ	こんなもの見つけたよ あったらいいな、こんなもの 夏がいっぱい ミリーのすてきなぼうし	雨のうた ことばでみちあない みの回りのものを読もう 書いたら、見直そう かん字のひろば② どうぶつ園のじゅうい かたかなのひろば ことばあそびをしよう	なかまのことばとかん字 かん字のひろば③ お手紙 主語と述語に気をつけよう かん字の読み方 秋がいっぱい そうだんにのってください	そうだんにのってください 紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう にたいみのことば、ほんたいのいみ のことば せかいーの話 かん字の広場④ みきのたからもの	みきのたからもの お話のさくしゃになろう 冬がいっぱい	ねこのこ かたかなで書くことば ことばを楽しもう ロボット ようすをあらわすことば 見たこと、かんじたこと	見たこと、かんじたこと カンジーはかせの大はつめい すてきなところをつたえよう スーホの白い馬	スーホの白い馬 かん字の広場⑤ 楽しかったよ、二年生 二年生をふりかえって
3年	よく聞いて、じこしょうかい どきん わたしのさいごうの一日 春風をたどって 図書館たんていだん 国語辞典を使おう 漢字の広場① 春のくらし	もっと知りたい友だちのこと 漢字の音と訓 漢字の広場② こまを楽しむ	気持ちをこめて「来てください」 漢字の広場③ まいごのかぎ 俳句を楽しもう こそあど言葉を使いこなそう 引用するとき	仕事の工夫、見つけたよ 夏のくらし 鳥になったきょうりゅうの話	わたしと小鳥とずすと 夕日がせなかをおしてくる こんな係がクラスにほしい ポスターを読もう 書くことを考えるときは 漢字の組み立て ローマ字 ちいちゃんのかげおくり	ちいちゃんのかげおくり 修飾語を使って書こう 秋のくらし おすすめの一さつを決めよう	すがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えます ことわざ・故事成語 漢字の意味 短歌を楽しもう 漢字の広場④	三年とうげ わたしの町のよいところ 冬のくらし	詩のくふうを楽しもう 四まいの絵を使って カンジーはかせの音訓かるた 漢字の広場⑤ ありの行列 つたわる言葉で表そう	つたわる言葉で表そう たから島のぼうけん お気に入りの場所、教えます	モチモチの木 漢字の広場⑥ 三年生をふり返って
4年	力を合わせてばらばらに 春のうた なりきって書こう 白いぼうし 図書館の達人にならう 漢字辞典を使おう 春の楽しみ	聞き取りメモのくふう カンジーはかせの都道府県の旅1 漢字の広場① 思いやりのデザイン アップとルーズで伝える	お礼の気持ちを伝えよう 漢字の広場② 一つの花 つなぎ言葉のはたらきを知らう 短歌・俳句に親しもう（一） 要約するとき 新聞を作ろう	新聞を作ろう アンケート調査のしかた カンジーはかせの都道府県の旅2 夏の楽しみ 本のポップや帯を作ろう 神様の階段	忘れもの ぼくは川 あなたなら、どう言う パンフレットを読もう どう直したらいいかな いろいろな意味をもつ言葉 ローマ字を使いこなそう 漢字の広場③ ごんぎつね	ごんぎつね 漢字を正しく使おう 秋の楽しみ クラスみんなで決めるには	未来につなぐ工芸品 工芸品のみりよくを伝えよう 慣用句 短歌・俳句に親しもう（二） 漢字の広場④	友情のかべ新聞 もしものときにそなえよう 冬の楽しみ	自分だけの詩集を作ろう 言葉から連想を広げて 熟語の意味 漢字の広場⑤ 風船でうちゅうへ	つながりに気をつけよう 心が動いたことを言葉に 調べて話そう、生活調査隊	調べて話そう、生活調査隊 スワンレイクのほとりで 漢字の広場⑥ 四年生をふり返って
5年	ひみつの言葉を引き出そう かんがえるのっておもしろい 名前を使って、自己しょうかい 銀色の裏地 図書館を使いこなそう 漢字の成り立ち 春の空	きいて、きいて、きいてみよう 見立てる 言葉の意味が分かること	言葉の意味が分かること 敬語 日常を十七音で 漢字の広場① 古典の世界（一） 目的に応じて引用するとき みんなが使いやすいデザイン	みんなが使いやすいデザイン 同じ読み方の漢字 夏の夜 作家で広げるわたしたちの読書／メモ	かぼちゃのつるが われは草なり どちらを選びますか 新聞を読もう 文章に説得力をもたせるには 漢字の広場② たずねびと	たずねびと 漢字の広場③ 方言と共通語 秋の夕 よりよい学校生活のために	浦島太郎―「御伽草紙」より 和語・漢語・外来語 固有種が教えてくれること 自然環境を守るために カンジー博士の暗号解読	古典の世界（二） 漢字の広場④ やなせたかし アーンパンマンの勇氣 あなたは、どう考える 冬の朝	好きな詩のよさを伝えよう 言葉でスケッチ 熟語の読み方 漢字の広場⑤ 想像力のスイッチを入れよう 複合語	言葉を使い分けよう もう一つの物語 「子ども未来科」で何をする	「子ども未来科」で何をする 大造じいさんとガン 漢字の広場⑥ 五年生をふり返って
6年	つないで、つないで、一つのお話 準備 伝わるかな、好きな食べ物 帰り道 公共図書館を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき	聞いて考えを深めよう 漢字の広場① 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	時計の時間と心の時間 文の組み立て たのしみは 天地の文 情報と情報をつなげて伝えるとき デジタル機器と私たち	デジタル機器と私たち 夏のさかり 私と本 星空を届けたい	せんねんまんねん 名づけられた葉 いちばん大事なものは インターネットを読もう 文章を推敲しよう 漢字の広場② やまなし イーハトーヴの夢	やまなし イーハトーヴの夢 漢字の広場③ 熟語の成り立ち 秋の深まり みんな楽しく過ごすために 話し言葉と書き言葉	狂言「柿山伏」を楽しもう 『鳥獣戯画』を読む 発見、日本文化のみりよく カンジー博士の漢字学習の秘伝	カンジー博士の漢字学習の秘伝 漢字の広場④ ぼくのブック・ウーマン おすすめのパンフレットを作ろう 冬のおとずれ	詩を朗読してしようかいしよう 知ってほしい、この名言 日本の文字文化 漢字の広場⑤ 「考える」とは 使える言葉にするために 日本語の特徴	日本語の特徴 大切にしたい言葉 今、私は、ぼくは	海の命 漢字の広場⑥ 中学校へつなげよう 生きる 人間は他の生物と何がちがうのか
7年	朝のリレー 野原はうたう 声を届けろ／書き留める／言葉を調べる	シンジュン 【聞く】情報を的確に聞き取る 情報整理のレッスン 比較・分類 情報を整理して書こう わかりやすく説明する 漢字1 漢字の組み立てと部首	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 思考のレッスン1 意見と根拠 話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する 漢字に親しもう2 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	時の世界 比喩で広がる言葉の世界 言葉1 指示する語句と接続する語句 言葉を集めよう もっと「伝わる」 表現を目ざして 読書を楽しむ 本の中の中学生	大人になれなかった弟たちに… 聖の花が降るころに 聞き上手になろう 質問で話を引き出す 項目を立てて書こう 案内文を書く 【推敲】読み手の立場に立つ	言葉2 方言と共通語 漢字2 漢字の音訓 10月「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 思考のレッスン2 原因と結果 根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く 漢字に親しもう3 【話し合い】話し合いの展開を捉える	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする 音読を楽しもう 大阿蘇 音読を楽しもう いろは歌 蓬菜の玉の枝―「竹取物語」から 今に生きる言葉	「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く 漢字に親しもう4 文法への扉2 言葉の関係を考えよう 考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約	少年の日の思い出 漢字に親しもう5 文法への扉3 単語の性質を見つけよう 随筆二編	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 言葉3 さまざまな表現技法 漢字3 漢字の成り立ち	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する さくらのはなびら 学習を振り返ろう

8年	見えないだけ アイスプラネット [聞く]問いを立てながら聞く	枕草子 (季節のしおり 春) 情報整理のレッスン 思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう 職業 ガイドを作る 漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1 クマゼミ増加の原因を探る	思考のレッスン1 具体と抽象 魅力的な提案をしよう 資料を示し てプレゼンテーションをする 漢字に親しもう2 文法への扉1 単語をどう分ける？ メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を 集めよう 「自分で考える時間」をもとう	短歌に親しむ 短歌を味わう [書く]短歌を作ろう 言葉の力 言葉1 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう もっと「伝わる」 表現を自ざして 読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう	盆土産 (季節のしおり 夏) 字のない葉書 聞き上手になろう 質問で思いや考 えを引き出す 表現を工夫して書こう 手紙や電子 メールを書く [推敲]表現の効果を考える 言葉2 敬語 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	モアイは語る——地球の未来 思考のレッスン2 根拠の吟味 根拠の適切さを考えて書こう 意見 文を書く 漢字に親しもう4 [討論]異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する 音読を楽しもう 月夜の浜辺 (季節のしおり 秋)	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 扇的 ——「平家物語」から 仁和寺にある法師—「徒然草」か ら [書く]人物の特徴を捉えて論じ よう 漢詩の風景	君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ 魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を 書く 漢字に親しもう5 文法への扉2 走る。走らない。走 ろうよ。 研究の現場によろこそ	走れメロス [書く]作品の魅力をまとめ、語 り合おう (季節のしおり 冬) 漢字に親しもう6 文法への扉3 一字違いで大違い	構成や展開を工夫して 書こう 「ある日の自分」の 物語を書く 言葉3 話し言葉と書き言葉 漢字3 送り仮名	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を 作る 木 (学習を振り返ろう)
9年	世界はうつくしいと 握手 [聞く]評価しながら聞く	学びて時に之を習ふ ——「論語」 から 情報整理のレッスン 情報の信頼性 文章の種類を選んで書こう 修学旅 行記を編集する 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1 作られた「物語」を超えて	思考のレッスン 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう2 文法への扉1 すいかは幾つ必要？ 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 言葉1 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ 「私の一冊」を探し にいこう	挨拶——原爆の写真によせて 故郷 聞き上手になろう 質問で相手の思 いに迫る [推敲]論理の展開を整える 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成 語	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 説得力の ある批評文を書く 漢字に親しもう4	[議論]話し合いを効果的に進める 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を聞く 音読を楽しもう 初恋 和歌の世界 君待つと一万葉・古 今・新古今 夏草——「おくのほそ道」から 古典名句・名言集 誰かの代わりに	情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く 漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5 文法への扉2 「ない」の違いがわ からない？ 本は世界への扉 エルサルバドルの少女ヘスース 紛争地の看護師	温かいスープ わたしを束ねないで	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする 漢字に親しもう6	学習を振り返ろう

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	思・判・表B(1)ウ 語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	思・判・表B(1)エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりすること。	思・判・表B(1)オ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。	
1年	どんなおはなしができるかな					◎	書いたものを読み合う ○絵を見て友達と話したことを基に、お話を書く。 ○友達が書いたお話を読んで、「いいな。」「おもしろいな。」と思ったことを伝える。
2年	お話のさくしゃになろう		◎				組み立てを考えて、お話を書く ○「初め」「中」「終わり」のまとまりに分けて考える。 ○「中」には、誰が、何をしたかがよく分かるように、出来事の様子を詳しく書く。
	見たこと、かんじたこと					◎	書いたもののよいところを見つける ○次のようなことから、作品のよさを見つける。 ・内容や使っている言葉のおもしろいところ ・様子や気持ちがよく伝わる言葉

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくって文章の構成を考えること。	思・判・表B(1)ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	思・判・表B(1)エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。	思・判・表B(1)オ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	
3年	書くときに使おう 四まいの絵を使って		◎				物語を書くときの組み立て ○どんな出来事が起こるのかを想像し、次のような組み立てで物語を考える。 ①始まり ②出来事(事件)が起こる ③出来事(事件)が解決する ④結び
	たから島のぼうけん			◎			書き表し方を工夫して、物語を書く ○様子が詳しく伝わるように、言葉を言い換えたり、加えたりする。
4年	書くときに使おう 言葉から連想を広げて			◎			連想を広げて表現を工夫する ○見たままの様子や聞こえる音など、思いついた言葉をたくさん書き出す。 ○言葉と言葉を組み合わせたり、言葉の順序を変えたりして、表現を整える。
	心が動いたことを言葉に					◎	言葉や表現の工夫について、感想を伝え合う ○書いた人が何に心を動かされたかを考えながら読み、感想を伝える。 ○言葉や表現の工夫について、互いの作品のよいところを見つける。

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア 目的や意図に応じて、感じ たことや考えたことなど から書くことを選び、集め た材料を分類したり関係 づけたりして、伝えたいこ とを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 筋道の通った文章と なるように、文章全 体の構成や展開を考 えること。	思・判・表B(1)ウ 目的や意図に応じ て、事実と感想、意見 とを区別して書くな ど、自分の考えが伝 わるように書き表し 方を工夫すること。	思・判・表B(1)エ 引用したり、図表や グラフなどを用いた りして、自分の考え が伝わるように書き 表し方を工夫するこ と。	思・判・表B(1)オ 文章全体の構成や書 き表し方などに着目 して、文や文章を整 えること。	
5 年	日常を十七音で			○		◎	表現を工夫して、感動を伝える ○さまざまな表現を試し、感動がより伝わると思うものを選ぶ。 ○たとえを使ったり、言葉の順序を工夫したり、漢字・平仮名・片仮名のどれを使って書き表すかを考えたりする。
	書くときに使おう 言葉でスケッチ			◎			情景が伝わるように書く ○人物の行動や会話、場面の様子（色や音、匂いなど）を想像して、言葉を書き出す。 ○たとえや、音の響きで様子を表す言葉を使うなど、表現を工夫する。
	もう一つの物語		◎				物語の効果的な構成を考える ○読む人にどう感じてほしいかを意識し、出来事とその解決を中心に、物語全体のどこに何を書くかを考える。 ○構成がどんな効果を生むかを考える。 ○設定と出来事、解決、結末などが、うまくつながるようにする。
6 年	たのしみは			○		◎	感想を伝え合い、今後の表現にいかす ○書いた人の伝えたいことを考え、題材や表現のよさなどを伝える。 ○感想を聞いて、次に文章などを書くときにいかしたいことを考える。

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア ◎目的や意図に応じて、日常 生活の中から題材を決め、集 めた材料を整理し、伝えたい ことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 書く内容の中心が明 確になるように、段 落の役割などを意識 して文章の構成や展 開を考えること。	思・判・表B(1)ウ 根拠を明確にしなが ら、 自分の考えが伝わる文 章になるように工夫す ること。	思・判・表B(1)エ 読み手の立場に立っ て、 表記や語句の用法、叙述 の仕方などを確かめて、 文章を整えること。	思・判・表B(1)オ 根拠の明確さなどにつ いて、 読み手からの助言などを踏ま え、自分の文章のよい点や改 善点を見いだすこと。	
7 年	詩の世界 学習			◎			詩を作る ○語感を磨き、語彙を豊かにする。 ○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解して使うこと。
	少年の日の思い出 学習		◎				別の人物の視点から文章を書き換える ○文章の中での語句の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。
	構成や描写を工夫して書 こう 体験を基に随筆を書く		◎	◎			構成や描写を考えて、印象に残る随筆を書く ○情景や心情を適切に表す語句を選ぶ。

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。	思・判・表B(1)ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	思・判・表B(1)エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。	思・判・表B(1)オ 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	
8年	枕草子 学習	◎					自分流「枕草子」を書く ○作者のものの見方や考え方を知る。
	短歌に親しむ 学習			◎			短歌を作る ○多様な語句に着目し、語感を磨く。
	構成や展開を工夫して書く 「ある日の自分」の物語を書く		◎			◎	構成を工夫して物語を書く ○文章の構成や展開について理解を深める

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表B(1)ア ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。	思・判・表B(1)イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。	思・判・表B(1)ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。	思・判・表B(1)エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。	思・判・表B(1)オ 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	
9年	俳句の可能性 学習		◎	◎			俳句を作って楽しむ ○語感を磨き、語彙を豊かにする。 ○俳句の特徴について理解を深める。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	はるがきた おはなしたのしいな なんていおうかな かくことたのしいな どうぞよろしく こんなものみつけたよ うたにあわせてあいうえお	こえにだしてよもう よくきいて、はなそう ことばをはなそう はなのみち としかんへいこう かきとかぎ ぶんをつくらう ねことねっこ	わけをはなそう おばさんとおばあさん あいうえおであそぼう つばみ おもちゃとおもちゃ おおきくなった おおきなかぶ	はをへをつかおう すきなものなあに おむずびころりん としかんとなかよし	こえをあわせてよもう みんなにしらせよう ことばをみつけよう やくそく かたかなをみつけよう うみのかくれんぼ かずとかんじ	くじらくも まちがいをなおそう しらせたいな、見せたいな かん字のはなし ことばをたのしもう	ことばをたのしもう じどう車くらべ じどう車ずかんをつくらう かたかなをかこう どんなおはなしができるかな たぬきの糸車	たぬきの糸車 日づけとよう日 てがみでしらせよう むかしはなしをよもう おかゆのおなべ	なりきってよもう くわしくきこう ことばであそぼう どうぶつの赤ちゃん ものなまえ	わらしべちようじゃ かたかなのかたち ことばあそびをつくらう これは、なんでしょう ずうっと、ずっと、大すきだよ	ずうっと、ずっと、大すきだよ にているかん字 いいこといっぱい一年生
2年	じゅんばんに並ぼう 絵を見てかこう ふきのとう 図書館たんけん 春がいっぱい 日記を書こう ともだちはどこかな	ともだちはどこかな たんばのちえ かんざつ名人になろう	いなばの白うさぎ 同じぶぶんをもつかん字 スイミー かん字のひろば① メモをとるとき こんなもの見つけたよ	こんなもの見つけたよ あったらいいな、こんなもの 夏がいっぱい ミリーのすてきなぼうし	雨のうた ことばでみちあない みの回りのものを読もう 書いたら、見直そう かん字のひろば② どうぶつ園のじゅうい かたかなのひろば ことばあそびをしよう	なかまのことばとかん字 かん字のひろば③ お手紙 主語と述語に気をつけよう かん字の読み方 秋がいっぱい そうだんにのってください	そうだんにのってください 紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう にたいみのことば、はんたいのいみ のことば せかいーの話 かん字の広場④ みきのたからもの	みきのたからもの お話のさくしやになろう 冬がいっぱい	ねこのこ かたかなで書くことば ことばを楽しもう ロボット ようすをあらわすことば 見たこと、かんじたこと	見たこと、かんじたこと カンジーはかせの大はつめい すてきなところをつたえよう スーホの白い馬	スーホの白い馬 かん字の広場⑤ 楽しかったよ、二年生 二年生をふりかえって
3年	よく聞いて、じこしょうかい どきん わたしのさいごうの一日 春風をたどって 図書館たんていだん 国語辞典を使おう 漢字の広場① 春のくらし	もっと知りたい友だちのこと 漢字の音と訓 漢字の広場② こまを楽しむ	気持ちをこめて「来てください」 漢字の広場③ まいごのかぎ 俳句を楽しもう こそあど言葉を使いこなそう 引用するとき	仕事の工夫、見つけたよ 夏のくらし 鳥になつたきょうりゅうの話	わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる こんな係がクラスにほしい ポスターを読もう 書くことを考えるときは 漢字の組み立て ローマ字 ちいちゃんのかげおくり	ちいちゃんのかげおくり 修飾語を使って書こう 秋のくらし おすすめの一さつを決めよう	すがたをかえる大臣 食べ物のひみつを教えます ことわざ・故事成語 漢字の意味 短歌を楽しもう 漢字の広場④	三年とうげ わたしの町のよいところ 冬のくらし	詩のくふうを楽しもう 四まいの絵を使って カンジーはかせの音訓かるた 漢字の広場⑤ ありの行列 つたわる言葉で表そう	つたわる言葉で表そう たから島のぼうけん お気に入りの場所、教えます	モチモチの木 漢字の広場⑥ 三年生をふり返って
4年	力を合わせてばらばらに 春のうた なりきって書こう 白いぼうし 図書館の達人になろう 漢字辞典を使おう 春の楽しみ	聞き取りメモのくふう カンジーはかせの都道府県の旅1 漢字の広場① 思いやりのデザイン アップとルーズで伝える	お礼の気持ちを伝えよう 漢字の広場② 一つの花 つなぎ言葉のはたらきを知ろう 短歌・俳句に親しもう（一） 要約するとき 新聞を作ろう	新聞を作ろう アンケート調査のしかた カンジーはかせの都道府県の旅2 夏の楽しみ 本のポップや帯を作ろう 神様の階段	忘れもの ぼくは川 あなたなら、どう言う パンフレットを読もう どう直したらいいかな いろいろな意味をもつ言葉 ローマ字を使いこなそう 漢字の広場③ ごんぎつね	ごんぎつね 漢字を正しく使おう 秋の楽しみ クラスみんなで決めるには	未来につなぐ工芸品 工芸品のひみつを伝えよう 慣用句 短歌・俳句に親しもう（二） 漢字の広場④	友情のかべ新聞 もしものときにそなえよう 冬の楽しみ	自分だけの詩集を作ろう 言葉から想像を広げて 熟語の意味 漢字の広場⑤ 風船でうちゅうへ	つながりに気をつけよう 心が動いたことを言葉に 調べて話そう、生活調査隊	調べて話そう、生活調査隊 スワンレイクのほとりで 漢字の広場⑥ 四年生をふり返って
5年	ひみつの言葉を引き出そう かんがえるのっておもしろい 名前を使って、自己しょうかい 銀色の裏地 図書館を使いこなそう 漢字の成り立ち 春の空	きいて、きいて、きいてみよう 見立てる 言葉の意味が分かること	言葉の意味が分かること 敬語 日常を十七音で 漢字の広場① 古典の世界（一） 目的に応じて引用するとき みんなが使いやすいデザイン	みんなが使いやすいデザイン 同じ読み方の漢字 夏の夜 作家で広げるわたしたちの読書／モ モ	かぼちゃのつるが われは草なり どちらを選びますか 新聞を読もう 文章に説得力をもたせるには 漢字の広場② たずねびと	たずねびと 漢字の広場③ 方言と共通語 秋の夕 よりよい学校生活のために	浦島太郎－「御伽草紙」より 和語・漢語・外来語 国語が教えてくれる こと 自然環境を守るために カンジー博士の暗号解読	古典の世界（二） 漢字の広場④ やなせたかし ーアンパンマンの勇気 あなたは、どう考える 冬の朝	好きな詩のよさを伝えよう 言葉でスケッチ 熟語の読み方 漢字の広場⑤ 想像力のスイッチを入れよう 複合語	言葉を使い分けよう もう一つの物語 「子ども未来科」で何をする	「子ども未来科」で何をする 大造じいさんとガン 漢字の広場⑥ 五年生をふり返って
6年	つないで、つないで、一つのお話 準備 伝わるかな、好きな食べ物 帰り道 公共図書館を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき	聞いて考えを深めよう 漢字の広場① 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	時計の時間と心の時間 文の組み立て たのしみは 天地の文 情報と情報をつながて伝えるとき デジタル機器と私たち	デジタル機器と私たち 夏のさかり 私と本 星空を届けたい	せんねんまんねん 名づけられた葉 いちばん大事なものは インターネットを読もう 文章を推敲しよう 漢字の広場② やまなし イーハトーヴの夢	やまなし イーハトーヴの夢 漢字の広場③ 熟語の成り立ち 秋の深まり みんな楽しんで過ごすために 話し言葉と書き言葉	狂言「柿山伏」を楽しもう 『鳥獣戯画』を読む 発見、日本文化のみりよく カンジー博士の漢字学習の秘伝	カンジー博士の漢字学習の秘伝 漢字の広場④ ぼくのブック・ウーマン おすすめのパンフレットを作ろう 冬のおとずれ	詩を朗読してしようかいしよう 知ってほしい、この名言 日本の文字文化 漢字の広場⑤ 「考える」とは 日本語の特徴	日本語の特徴 大切にしたい言葉 今、私は、ぼくは	海の命 漢字の広場⑥ 中学校へつなげよう 生きる 人間は他の生物と何がちがうのか
7年	朝のリレー 野原はうたう 声を届ける／書き留める／言葉を 調べる	シンジュン 【聞く】情報を的確に聞き取る 情報整理のレッスン 比較・分類 情報を整理して書こう わかりやす く説明する 漢字1 漢字の組み立てと部首	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 比喩で広がる言葉の世界 思考のレッスン1 意見と根拠 話の構成を工夫しよう 好きなこと をスピーチで紹介する 漢字1 漢字の読み方2 文法への扉1 言葉のまとまりを考 えよう 情報を集めよう 情報を読み取る 情報を引用しよう	詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 言葉1 指示する語句と接続する語句 言葉を集めよう もっと「伝わる」 表現を目指して 読書を楽しむ 本の中の中学生	大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに 聞き上手になろう 質問で話を引き 出す 項目を立てて書こう 案内文を書 く【推敲】読み手の立場に立つ	言葉2 方言と共通語 漢字2 漢字の音訓 10月「言葉」をもつ 鳥、シジュウカラ 思考のレッスン2 原因と結果 根拠を示して説明しよう 資料を引 用してレポートを書く 漢字に親しもう3 【話し合い】話し合いの展開を捉え る	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする 音読を楽しもう 大阿蘇 音読を楽しもう いろは歌 蓬菜の玉の枝——「竹取物語」から 今に生きる言葉	「不便」の価値を見つ め直す 助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く 漢字に親しもう4 文法への扉2 言葉の関係を考えよ う 考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約	少年の日の思い出 漢字に親しもう5 文法への扉3 単語の性質を見つけ よう 随筆二編	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 言葉3 さまざまな表現技法 漢字3 漢字の成り立ち	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する さくらはなびら 学習を振り返ろう

8年	見えないだけ アイスプラネット [聞く]問いを立てながら聞く	枕草子 (季節のしおり 春) 情報整理のレッスン 思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう 職業 ガイドを作る 漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1 クマゼミ増加の原因を探る	思考のレッスン1 具体と抽象 魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする 漢字に親しもう2 文法への扉1 単語をどう分ける？ メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう	短歌に親しむ 短歌を味わう [書く]短歌を作ろう 言葉の力 言葉1 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう もっと「伝わる」 表現を自覚して 読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう	盆土産 (季節のしおり 夏) 字のない葉書 聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す 表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く [推敲]表現の効果を考える 言葉2 敬語 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	モアイは語る——地球の未来 思考のレッスン2 根拠の吟味 根拠の適切さを考えて書こう 意見を 文を書く 漢字に親しもう4 [討論]異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する 音読を楽しもう 月夜の浜辺 (季節のしおり 秋)	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 扇的 ——「平家物語」から 仁和寺にある法師—「徒然草」から [書く]人物の特徴を捉えて論じよう 漢詩の風景	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ 魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く 漢字に親しもう5 文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 研究の現場によるこそ	走れメロス [書く]作品の魅力をまとめ、語り合おう (季節のしおり 冬) 漢字に親しもう6 文法への扉3 一字違いで大違い	構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く 言葉3 話し言葉と書き言葉 漢字3 送り仮名	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る 木 (学習を振り返ろう)
9年	世界はうつくしいと握手 [聞く]評価しながら聞く	学びて時に之を習ふ ——「論語」から 情報整理のレッスン 情報の信頼性 文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1 作られた「物語」を超えて	思考のレッスン 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう2 文法への扉1 すいかは幾つ必要？ 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 言葉1 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう	挨拶——原爆の写真によせて 故郷 聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る [推敲]論理の展開を整える 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く 漢字に親しもう4	[議論]話し合いを効果的に進める 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く 音読を楽しもう 初恋 和歌の世界 君待つと一万葉・古今・新古今 夏草——「おくのほそ道」から 古典名句・名言集 誰かの代わりに	情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く 漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5 文法への扉2 「ない」の違いがわからない？ 本は世界への扉 エルサルバドルの少女ヘスース 紛争地の看護師	温かいスープ わたしを束ねないで	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする 漢字に親しもう6	学習を振り返ろう

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表C(1)ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	思・判・表C(1)ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	思・判・表C(1)オ 文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもつこと。	思・判・表C(1)カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	
1年	つぼみ	◎	○			「問い」と「答え」を捉えて読む ○「問い」と「答え」の文に気をつけて読む。
	うみのかくれんぼ	○	◎			読んで確かめる ○大事な言葉を見つけながら読み、何が書いてあるかを捉える。
	じどう車くらべ	◎	○			順序に気をつけて読む ○説明の順に気をつけて、まとめごとに、「しごと」と「つくり」を読み分ける。
	どうぶつの赤ちゃん			◎	○	比べて読む ○比べて読み、特徴の違いなどを考え、分かったことを伝え合う。
2年	たんぼほのちえ	◎	○			説明する文章を読む ○題名や絵から、その文章で書かれていることを確かめる。 ○順序が分かる言葉や、訳に気をつけて、詳しく読む。
	生活の中で読もう みの回りのものを読もう		◎	○		大事な情報を読み取る ○身の回りには、情報の伝え方を工夫しているものがある。 ○言葉や絵などの使い方に気をつけて、大事なことを読み取る。
	どうぶつ園のじゅうい	○		◎		読んで、自分の考えをもつ ○誰が何をしたのか、どんなことがあったのかを考えながら読む。 ○読んで分かったことを、自分のことや知っていることと比べて考える。
	紙コップ花火の作り方	○	◎			大事な言葉や文を見つける。 ○「まず」「次に」など、順序が分かる言葉に気をつける。 ○写真が、どの言葉や文を表しているかを考える。
	ロボット		○		◎	読んで、分かったことや思ったことを伝え合う ○大事な言葉を見つけながら読んで、初めて知ったことや、「すごいな。」と思ったことを伝える。 ○友達の話聞いて、「いいな。」と思ったことを伝える。

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表C(1)ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。	思・判・表C(1)ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。	思・判・表C(1)オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	思・判・表C(1)カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	
3年	文様／こまを楽しむ	◎	○			文章全体の組み立てを捉える ○文章は、「初め」「中」「終わり」などの大きなまとまりに分けられる。大きなまとまりは、一つ、または幾つかの段落でできている。 ○一つ一つの段落には、それぞれ、ひとまとまりの内容が書かれている。 ○「問い」と「答え」に気をつけると。文章全体の組み立てや、段落の中心を捉えることができる。
	生活の中で読もう ポスターを読もう		○	◎		作り手の工夫を考える ○誰に向けて作られているか、何を、どのように伝えようをしているかを考える。 ○言葉と絵、写真などを、どう組み合わせているか、考える。
	すがたをかえる大豆		◎			話題と、例の書かれ方を考えながら読む ○題名や「初め」から、話題を確かめる。 ○「中」の例と話題とのつながりから、それぞれの段落の中心となる言葉や文を考える。 ○例を挙げる順序や、写真の使い方など、筆者の例の書き方の工夫を見つける。
	ありの行列			◎	◎	説明する文章を読んで、考えをもつ ○読んで考えをもつためには、次のことを見つけながら読むとよい。 ・初めて知って驚いたこと ・「どうしてだろう。」と、不思議に思ったこと ・もっと知りたいと思ったこと ○考えたことを伝え合うときには、自分の考えと同じところや違うところに着目する。
4年	思いやりのデザイン／ アップとルーズで伝える	◎		○		筆者の考えの述べ方を捉える ○考えを述べた文章では、文章の初めと終わりの両方で、考えを繰り返し述べていることが多い。 ○どのような具体例を挙げて考えを述べているかなど、段落どうしのかかわり関係を確かめ、筆者の考えを捉える。
	生活の中で読もう パンフレットを読もう		◎	○		目的を意識して読む ○自分が知りたいことをはっきりさせる。 ○見出しや絵などから、自分にとって必要な部分を見つけて、詳しく読む。
	未来につなぐ工芸品		◎			中心となる語や文を見つけて、要約する ○まとまりごとに、中心となる語や文がどれかを考える。 ○中心となる語や文を使い、分量を考えて、元の文章の組み立てをいかしたり、自分の言葉を用いたりして、短くまとめる。
	風船でうちゅうへ			◎	◎	感じ方の違いに気づき、よさを見つける ○読んだ文章に対する感想や考えには、その人が文章をどう受け止めたり、理解したりしたかが表れている。 ○自分とは違う感想や考えに出会ったら、違いはどこから生まれているのか、他の人の感じ方のよさは何かを考えると、読んだ文章への理解が深まる。

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表C(1)ア 事実と感想、意見などとの 関係を叙述を基に押さえ、 文章全体の構成を捉えて 要旨を把握すること。	思・判・表C(1)ウ 目的に応じて、文章と図表など を結び付けるなどして必要な 情報を見付けたり、論の進め方 について考えたりすること。	思・判・表C(1)オ 文章を読んで理解し たことに基づいて、 自分の考えをまとめ ること。	思・判・表C(1)カ 文章を読んでまとめ た意見や感想を共有 し、自分の考えを広げ ること。	
5 年	見立てる/ 言葉の意味が分か ること	◎		○		要旨を捉える ○要旨につながる筆者の考えの中心は、文章の初めや終わりに書いてあることが多い。 ○筆者の考えやものの見方は、直接書かれている部分以外にも、次のようなところに表れる。 ・どのような事例を挙げているか。 ・どのような理由を述べているか。 ・どのような表現を用いているか。
	生活の中で読もう 新聞を読もう	○	◎			目的に応じて新聞を読む ○記事を読むときには、何について書かれているかを見出しやリード文から捉え、より詳しい情報を本文や図表から読み取る。 ○同じ話題でも、伝える相手や目的によって、記事の内容は異なる。知りたいことに合わせて、読む新聞や記事を選ぶとよい。
	固有種が教えてく れること	○	◎			文章にある資料の効果を考える ○図表やグラフ、写真などの資料が、文章のどの部分と対応しているのかを確かめる。 ○資料がもたらす効果について、筆者・読み手両方の立場から考える。
	想像力のスイッチ を入れよう			◎	○	自分の考えを明確にする ○筆者の、意見と事例の挙げ方に気を付けて読み、説明の意図や効果について考える。 ○自分の知識や経験と重ねながら読み、次の点から考えを深める。 ・共感したり、納得したりすること ・疑問に思うこと ・自分はどうしたいか など
6 年	笑うから楽しい/ 時計の時間と心の 時間	◎		○		主張と事例の関係から、文章全体の構成を捉える ○主張と事例が、それぞれどの段落に書かれているかを確かめ、文章全体の構成を捉える。 ○筆者の主張や挙げられた事例について、自分の経験や知識と関係づけて理解する。 ○どんな事例を挙げ、それによって文章をどう構成しているか、筆者の意図を考える。
	生活の中で読もう インターネットで ニュースを読もう		◎	○		インターネットを使って、適切に情報を得る ○いつ、誰によって発信された情報かに注意して、事実を正しく読み取ったり、信頼できる情報かどうか判断したりする。 ○関連するニュースを探しやすい、情報が頻繁に更新されるなどの、ニュースサイトの特徴をいかして、知りたい情報を得る。
	「鳥獣戯画」を読 む	○	◎			考えを効果的に伝えるための筆者の工夫を捉える ○取り上げたものに対して、筆者が何に着目し、どう評価しているかを捉える。 ○論の展開や表現、資料の使い方などについて、筆者の工夫とその意図や効果を考える。
	「考える」とは			◎	◎	複数の文章を読んで考えたことを伝え合う ○それぞれの文章の論の展開や、表現の特徴に気をつけて、考えや述べ方の共通点や異なる点を見つける。 ○筆者の主張を捉え、自分の経験や知識と重ね合わせながら、考えをまとめる。 ○さまざまな人や文章と対話し、その思いや考えに触れることで、自分の考えを広げたり深めたりする。

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表C(1)ア 文章の中心的な部分と付加的な部分、 事実と意見との関係などについて叙述 を基に捉え、要旨を把握すること。	思・判・表C(1)ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約 したり、場面と場面、場面と描写などを結 び付けたりして、内容を解釈すること。	思・判・表C(1)エ 文章の構成や展開、表現の 効果について、根拠を明確 にして考えること。	思・判・表C(1)オ 文章を読んで理解したこと に基づいて、自分の考えを確か なものにすること。	
7 年	ダイコンは大きな 根？	◎				段落の役割に着目して、文章の内容を捉える ○本文中で比較がどのように使われているかを確かめる
	ちょっと立ち止ま って	◎				段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える ○筆者の主張と事例との関係を理解する
	比喩で広がる言葉 の世界	◎				文章全体における各段落の役割をおさえ、文章の内容を性格に捉える ○比喩について理解し、言葉についての考えを深める
	「言葉」をもつ鳥、 シジュウカラ			◎		文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える ○筆者の意見とそれを支える根拠との 関係を理解する
	「不便」の価値を 見つめ直す		◎		◎	筆者の主張を要約し、 それに対する自分の 考えをもつ ○必要な情報を取り出し、 結び付けて要約する

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表C(1)ア 文章全体と部分の関 係に注意しながら、 主張と例示との 関係や登場人物の 設定の仕方などを 捉えること。	思・判・表C(1)イ 目的に応じて複数 の情報を整 理しながら適切な 情報を得たり、登 場人物の言動の意 味などについて考 えたりして、内容 を解釈すること。	思・判・表C(1)ウ 文章と図表などを 結び付け、その関 係を踏まえ て内容を解釈する こと。	思・判・表C(1)エ 観点を明確にして 文章を比較するな どし、文章の構 成や論理の展開、 表現の効果につ いて考えること。	思・判・表C(1)オ 文章を読んで理解 したことや考えた ことを知識や 経験と結び付け、 自分の考えを 広げたり深めたり すること。	
8 年	クマゼミ増加の 原因を探る	◎		◎			文章全体と部分の関係や、 文章と図表の関 係に注意して読む ○文章の構成や展開について、理解を深める
	モアイは語る —地球の未来				◎	◎	自分の知識や考えと 比べながら、 文 章の構成や論理の 展開を吟味する ○意見を裏づけるた めの、 適切な根拠 のあり方について 理解する
	君は「最後の晩 餐」を知っている か／「最後の晩 餐」の新しさ		◎		◎		観点を明確にして文 章を比較し、その 分析を基に 構成 や表現の効果を考 える ○文章の構成にお ける 具体と抽象の 関係を理解する ○文章で使われて いる 比較の効果を 理解する

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表C(1)ア 文章の種類を踏まえて、論 理や物語の展開の仕方など をとらえること。	思・判・表C(1)イ 文章を批判的に読みながら、文章 に表れているものの見方や考え方 について考えること	思・判・表C(1)ウ 文章の構成や論理の展 開、表現の仕方について 評価すること。	思・判・表C(1)エ 文章を読んで考えを広げた り深めたりして、人間、社会、 自然などについて、自分の意 見をもつこと。	
9 年	作られた「物語」 を超えて	◎		◎		論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価する ○文章における 具体と抽象の関係を捉える
	人工知能との未 来／人間と人工 知能と創造性		◎		◎	文章を批判的に読み、これからの社会の在り方について 自分の意見をもつ ○情報の信頼性を確かめながら読む
	誰かの代わりに				◎	筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について 自分の意見をもつ ○抽象的な概念を表す語句の 文脈上の意味に注意しながら読む

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	はるがきた おはなしたのしいな なんていおうかな かくことたのしいな どうぞよろしく こんなものみつけたよ うたにあわせてあいうえお	こえにだしてよもう よくきいて、はなそう ことばをはなそう はなのみち としょかんへいこう かきとかぎ ぶんをつくらう ねことねっこ	わけをはなそう おばさんとおばあさん あいうえおであそぼう つぼみ おもちゃとおもちゃ おおきくなった おおきなかぶ	はをへをつかおう すきなものなあに おむずびころりん としょかんとなかよし	こえをあわせてよもう みんなにしらせよう ことばをみつけよう やくそく かたかなをみつけよう うみのかくれんぼ かずとかんじ	くじらぐも まちがいをなおそう しらせたいな、見せたいな かん字のはなし ことばをたのしもう	ことばをたのしもう じどう車くらべ じどう車ずかんをつくらう かたかなをかこう どんなおはなしができるかな たぬきの糸車	ことばをたのしもう 日づけとよう日 てがみでしらせよう むかしはなしをよもう おかゆのおなべ	なりきってよもう くわしくきこう ことばであそぼう どうぶつのおちゃん ものなまえ	わらしべちょうじゃ かたかなのかたち ことばあそびをつくらう これは、なんでしょう ずうっと、ずうっと、大 すきだよ	ずうっと、ずうっと、大 すきだよ にているかん字 いいこといっぱい一年生
2年	じゅんばんに並ぼう 絵を見てかこう ふきのとう 図書館たんけん 春がいっぱい 日記を書こう ともだちはどこかな	ともだちはどこかな たんぼほのちえ かんざつ名人にならう	いなばの白うさぎ 同じぶぶんをもつかん字 スイミー かん字のひろば① メモをとるとき こんなもの見つけたよ	こんなもの見つけたよ あったらいいな、こんなもの 夏がいっぱい ミリーのすてきなぼうし	雨のうた ことばでみちあない みの回りのものを読もう 書いたら、見直そう かん字のひろば② どうぶつ園のじゅうい かたかなのひろば ことばあそびをしよう	なかまのことばとかん字 かん字のひろば③ お手紙 主語と述語に気をつけよう かん字の読み方 秋がいっぱい そうだんにのってください	そうだんにのってください 紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう にたいみのことば、ほんたいのいみ のことば せかいーの話 かん字の広場④ みきのたからもの	みきのたからもの お話のさくしやにならう 冬がいっぱい	ねこのこ かたかなで書くことば ことばを楽しもう ロボット ようすをあらわすことば 見たこと、かんじたこと	見たこと、かんじたこと カンジーはかせの大はつめい すてきなところをつたえよう スーホの白い馬	スーホの白い馬 かん字の広場⑤ 楽しかったよ、二年生 二年生をふりかえって
3年	よく聞いて、じこしょうかい どきん わたしのさいごうの一日 春風をたどって 図書館たんていだん 国語辞典を使おう 漢字の広場① 春のくらし	もっと知りたい友だちのこと 漢字の音と訓 漢字の広場② こまを楽しむ	気持ちをこめて「来てください」 漢字の広場③ まいごのかぎ かん字のひろば① メモをとるとき 引用するとき	仕事の工夫、見つけたよ 夏のくらし 鳥になったきょうりゅうの話	わたしと小鳥とずすと 夕日がせなかをおしてくる こんな係がクラスにほしい ボスターを読もう 書くことを考えるときは 漢字の組み立て ローマ字 ちいちゃんのかげおくり	わたしがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えます ことわざ・故事成語 漢字の意味 短歌を楽しもう 漢字の広場④	ちいちゃんのかげおくり 修飾語を使って書こう 秋のくらし おすすめの一さつを決めよう	三年とうげ わたしの町のよいところ 冬のくらし	詩のくふうを楽しもう 四まいの絵を使って カンジーはかせの音訓かるた 漢字の広場⑤ ありの行列 つたわる言葉で表そう	つたわる言葉で表そう たから島のぼうけん お気に入りの場所、教えます	モチモチの木 漢字の広場⑥ 三年生をふり返って
4年	力を合わせてばらばらに 春のうた なりきって書こう 白いぼうし 図書館の達人にならう 漢字辞典を使おう 春の楽しみ	聞き取りメモのくふう カンジーはかせの都道府県の旅1 漢字の広場① 思いやりのデザイン アップとルーズで伝える	お礼の気持ちを伝えよう 漢字の広場② 一つの花 つなぎ言葉のはたらきを知ろう 短歌・俳句を親しもう（一） 要約するとき 新聞を作らう	新聞を作らう アンケート調査のしかた カンジーはかせの都道府県の旅2 夏の楽しみ 本のポップや帯を作らう 神様の階段	忘れもの ぼくは川 あなたなら、どう言う パンフレットを読もう どう直したらいいかな いろいろな意味をもつ言葉 ローマ字を使いこなそう 漢字の広場③ ごんぎつね	ごんぎつね 漢字を正しく使おう 秋の楽しみ クラスみんなで決めるには	未来につなぐ工芸品 工芸品のみりよくを伝えよう 慣用句 短歌・俳句に親しもう（二） 漢字の広場④	友情のかべ新聞 もしものときにそなえよう 冬の楽しみ	自分だけの詩集を作らう 言葉から連想を広げて 熟語の意味 漢字の広場⑤ 風船でうちゅうへ	つなぐりに気をつけよう 心が動いたことを言葉に 調べて話そう、生活調査隊	調べて話そう、生活調査隊 スワンレイクのほとり で 漢字の広場⑥ 四年生をふり返って
5年	ひみつの言葉を引き出そう かんがえるのっておもしろい 名前を使って、自己しょうかい 緋色の裏地 図書館を使いこなそう 漢字の成り立ち 春の空	きいて、きいて、きいてみよう 見立てる 言葉の意味が分かること	言葉の意味が分かること 敬語 日常を十七音で 漢字の広場① 古典の世界（一） 目的に応じて引用するとき みんなが使いやすいデザイン	みんなが使いやすいデザイン 同じ読み方の漢字 夏の夜 作家で広げるわたしたちの読書／モモ	かぼちゃのつるが われは草なり どちらを選びますか 新聞を読もう 文章に説得力をもたせるには 漢字の広場② たずねびと	たずねびと 漢字の広場③ 方言と共通語 秋の夕 よりよい学校生活のために	浦島太郎ー「御伽草紙」より 和語・漢語・外来語 固有種が教えてくれること 自然環境を守るために カンジー博士の暗号解読	古典の世界（二） 漢字の広場④ やなせたかしーアンパンマンの勇気 あなたは、どう考える 冬の朝	好きな詩のよさを伝えよう 言葉でスケッチ 熟語の読み方 漢字の広場⑤ 想像力のスイッチを入れよう 複合語	言葉を使い分けよう もう一つの物語 「子ども未来科」で何をする	「子ども未来科」で何をする 大造じいさんとガン 漢字の広場⑥ 五年生をふり返って
6年	つないで、つないで、一つのお話 準備 伝わるかな、好きな食べ物 掃り道 公共図書館を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき	聞いて考えを深めよう 漢字の広場① 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	時計の時間と心の時間 文の組み立て たのしみは 天地の文 情報と情報をつながて伝えるとき デジタル機器と私たち	デジタル機器と私たち 夏のさかり 私と本 星空を届けたい	せんねんまんねん 名づけられた葉 いちばん大事なものは インターネットを読もう 文章を推敲しよう 漢字の広場② やまなしイーハトーヴの夢	やまなしイーハトーヴの夢 漢字の広場③ 熟語の成り立ち 秋の深まり みんな楽しく過ごすために 話し言葉と書き言葉	狂言「柿山伏」を楽しもう 『鳥獣戯画』を読む 発見、日本文化のみりよく カンジー博士の漢字学習の秘伝	カンジー博士の漢字学習の秘伝 漢字の広場④ ぼくのブック・ウーマン おすすめのパフレットを作らう 冬のおとずれ	詩を朗読してしょうかいしよう 知ってほしい、この名言 日本の文字文化 漢字の広場⑤ 「考える」とは 使える言葉にするために 日本語の特徴	日本語の特徴 大切にしたい言葉 今、私は、ぼくは	海の命 漢字の広場⑥ 中学校へつなげよう 生きる 人間は他の生物と何がちがうのか
7年	朝のリレー 野原はうたう 声を届ける／書き留める／言葉を 調べる	シンジュン 【聞く】情報を的確に聞き取る 情報整理のレッスン 比較・分類 情報を整理して書こう わかりやすく説明する 漢字1 漢字の組み立てと部首	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 思考のレッスン1 意見と根拠 話の構成を工夫しよう 好きなこと をスピーチで紹介する 漢字2 漢字に親しもう2 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 言葉1 指示する語句と接続する語句 言葉を集めよう もっと「伝わる」 表現を自覚して 読書を楽しむ 本の 中の中学生	大人になれなかった たちに… 星の花が降るころに 聞き上手にならう 質問で話を引き 出す 項目を立てて書こう 案内文を書く 【推敲】読み手の立場に立つ	言葉2 方言と共通語 漢字2 漢字の音訓 10月「言葉」をもつ鳥、シジウ カラ 思考のレッスン2 原因と結果 根拠を示して説明しよう 資料を引 用してレポートを書く 漢字に親しもう3 【話し合い】話し合いの展開を捉え る	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする 音読を楽しもう 大阿 蘇 音読を楽しもう いろは歌 蓬萊の玉の枝ー「竹取物語」から 今に生きる言葉	「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く 漢字に親しもう4 文法への扉2 言葉の関係を考えよ う 考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約	少年の日の思い出 漢字に親しもう5 文法への扉3 単語の性質を見つけ よう 随筆二編	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 言葉3 さまざまな表現技法 漢字3 漢字の成り立ち	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する さくらはなびら 学習を振り返ろう

<p>8年</p>	<p>見えないだけ アイズプラネット [聞く]問いを立てながら聞く</p>	<p>枕草子 (季節のしおり 春) 情報整理のレッスン 思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう 職業 ガイドを作る 漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1 クマゼミ増加の原因を探る</p>	<p>思考のレッスン1 具体と抽象 魅力的な提案をしよう 資料を示し てプレゼンテーションをする 漢字に親しもう2 文法への扉1 単語をどう分ける？ メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を 集めよう 「自分で考える時間」をもとう</p>	<p>短歌に親しむ 短歌を味わう [書く]短歌を作ろう 言葉の力 言葉1 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう もっと「伝わる」 表現を目ざして 読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう</p>	<p>盆土産 (季節のしおり 夏) 字のない葉書 聞き上手になろう 質問で思いや考 えを引き出す 表現を工夫して書こう 手紙や電子 メールを書く [推敲]表現の効果を考える 言葉2 敬語 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3</p>	<p>モアイは語る——地球の未来 思考のレッスン2 根拠の吟味 根拠の適切さを考えて書こう 意見 文を書く 漢字に親しもう4 [討論]異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する 音読を楽しもう 月夜 の浜辺 (季節のしおり 秋)</p>	<p>源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 扇的 ——「平家物語」から 仁和寺にある法師—「徒然草」か ら [書く]人物の特徴を捉えて論じ よう 漢詩の風景</p>	<p>君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ 魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を 書く 漢字に親しもう5 文法への扉2 走る。走らない。走 ろうよ。 研究の現場によろこ そ</p>	<p>忘れメロス [書く]作品の魅力をまとめ、語 り合おう (季節のしおり 冬) 漢字に親しもう6 文法への扉3 一字違いで大違い</p>	<p>構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く 言葉3 話し言葉と書き言葉 漢字3 送り仮名</p>	<p>国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を 作る 木 (学習を振り返ろう)</p>
<p>9年</p>	<p>世界はうつくしいと 握手 [聞く]評価しながら聞く</p>	<p>学びて時に之を習ふ ——「論語」 から 情報整理のレッスン 情報の信頼性 文章の種類を選んで書こう 修学旅 行記を編集する 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1 作られた「物語」を超えて</p>	<p>思考のレッスン 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう2 文法への扉1 すいかは幾つ必要？ 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう</p>	<p>俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 言葉1 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ 「私の 一冊」を探しにいこう</p>	<p>挨拶——原爆の写真に よせて 故郷 聞き上手になろう 質問で相手の思 いに迫る [推敲]論理の展開を整える 言葉2 慣用語・ことわざ・故事成 語</p>	<p>漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 説得力の ある批評文を書く 漢字に親しもう4</p>	<p>[議論]話し合いを効果的に進める 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く 音読を楽しもう 初恋 和歌の世界 君待つと一万葉・古 今・新古今 夏草——「おくのほそ道」から 古典名句・名言集 誰かの代わりに</p>	<p>情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く 漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5 文法への扉2 「ない」の違いがわ からない？ 本は世界への扉 エルサルバドルの少女ヘスース 紛争地の看護師</p>	<p>温かいスープ わたしを凍めないで</p>	<p>三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする 漢字に親しもう6</p>	<p>学習を振り返ろう</p>

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表C(1)イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること	思・判・表C(1)エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること	思・判・表C(1)オ 文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもつこと。	思・判・表C(1)カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	
1年	やくそく	◎	○			お話を読む ○誰が、何を言ったか、何をしたか確かめながら読む。 ○登場人物になったつもりで、声に出して読む。
	くじらぐも		◎			思い浮かべながら読む ○登場人物が、どこで、何をしたのかを、絵も見ながら思い浮かべる。
	たぬきの糸車		○	◎		好きなところを見つける ○登場人物がしたことと同じように、動いてみる。 ○好きなところとその訳を考える。
	ずうっと、ずっと、大すきだよ			○	◎	読んで感じたことを話す ○登場人物の行動を中心に想像を広げて読む。 ○感じたこととその訳を友達と話して、お話をもっと楽しむ。
	読書 むかしばなしをよもう おかゆのおなべ				○	昔話を選んで読む ○昔話を読んで好きなところを見つける。 ○読書カードを書いて、友達と交流する。
2年	ふきのとう		◎			どんなお話を確かめる ○登場人物を確かめる。 ○次のような言葉を見つける。 ・したことや、言ったことが分かる言葉 ・「いつ」や「どこ」が分かる言葉
	スイミー	○	◎			お話の様子を思い浮かべる ○お話には、いくつかの場面がある。 ○それぞれの場面で起こった出来事を確かめる。 ○たとえを表す言葉などに気をつけて、場面や人物の様子を思い浮かべる。
	お手紙		○	◎		登場人物と自分を比べて、感想をもつ ○人物がしたことを表す言葉から、様子を思い浮かべる。 ○自分だったらどうするか、どう思うかを考えながら読む。
	みきのたからもの	○	◎			人物の様子を思い浮かべる ○お話の中に出てくるものの様子を思い浮かべ、人物のしたことや出来事と結び付ける。 ○人物の様子から、どうしてそのことをしたり言ったりしたのか、その理由を考える。
	スーホの白い馬		○		◎	読んで、感じたことを伝え合う ○お話の、どの言葉や文から感想をもったかはっきりさせる。 ○友達の感想を聞いて、いろいろな感じ方や考え方を知る。
	読書 お気に入りの本を紹介しよう ミリーのすてきなぼうし					○ お気に入りの本を紹介する ○読書記録を振り返り、自分はどんな本が好きなのかを考える。 ○友達どうして、お気に入りの本を読み合う。

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表C(1)イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること	思・判・表C(1)エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像すること	思・判・表C(1)オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと	思・判・表C(1)カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくこと	
3年	春風をたどって	◎				言葉に着目して、登場人物の気持ちを確認する ○気持ちをそのまま表す言葉から考える。 ○したことや言ったことを表す言葉から、登場人物の様子を考える。 ○場面の様子を表す言葉から、登場人物がどう感じているかを考える。
	まいごのかぎ		◎			登場人物がどのように変化したかを考える ○どんな出来事が起こったか、登場人物がどのような様子や気持ちなのかを確認する。 ○出来事が起こる前と後で、登場人物の考え方や気持ちがどう変わったかを考える。 ○登場人物の考え方や気持ちの変化は、言ったことや、その人物の様子を表す言葉から、想像することができる。
	ちいちゃんのかげおくり		○	◎		場面を比べながら読み、感想をもつ ○場面を比べて読み、似ているところや違うところ、登場人物の気持ちの移り変わりを考える。 ○場面を比べることで気づいたことや、変わったり深まったりした考えについて、物語のどこからそう感じたのかを明らかにしながらまとめる。
	三年とうげ	◎		○		内容や書かれ方に着目して読む。 ○のようなことに着目すると、お話のおもしろさを見つけることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動 ・登場人物の様子と、その変化 ・起こった出来事と、それがどうなったか ・言葉の使われ方や、文の調子
	モチモチの木		○		◎	登場人物についての考えを伝え合う ○次のことに着目し、場面の言葉を結び付けながら、登場人物の気持ちの変化や性格について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・その人物の行動や会話 ・語り手や他の登場人物が、その人物について語る言葉 ○考えるときに着目した言葉や文を明らかにしながら、登場人物と自分を比べて感じたことを伝える。 ○他の人と感想を交流することで、新しい考えに出会うことができる。
	読書 本で知ったことをクイズにしよう 島になったきょうりゅうの話				○	さまざまな種類の本を読む ○読む本の種類や目的に合わせて、次のような読み方を使い分けるとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・初めから終わりまで、丁寧に読む。 ・本全体をおおまかに読む。 ・目次や索引を使って、必要なところだけを読む ○知りたいことがあるときは、目次や索引を使うと、目的のページを早く見つけることができる。
4年	白いぼうし	◎				言葉に着目して、出来事と人物の気持ちを捉える ○会話や行動と、その様子を表す言葉から、そのときの人物の気持ちを考える。 ○色や匂いなどを表す言葉から、その場面を思い浮かべる。 <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し出てくる物や言葉から、登場人物がそれをどう感じているかを考える。
	一つの花		◎			繰り返し出てくる物や言葉について考える ○繰り返し出てくる物や言葉が、それぞれの場面で、どのように書かれているかを確認する。 ○場面どうしを比べて、その物や言葉の書かれ方の、同じところや違うところを見つける。 ○書かれ方の違いから、登場人物の気持ちなどの変化を想像する。 ○その物や言葉が、題名とどう関係するかを考える。

ごんぎつね		○	◎		気持ちの変化を捉えて、感想をもつ ○行動や会話とともに、情景や場面の様子が分かる表現からも、登場人物の気持ちの変化を想像する。 ○登場人物の気持ちの変化について、自分がどう感じたかを考える。 ・自分がその人物の立場だったら、と考えて ・他の作品と比べて
友情のかへ新聞		◎			つながりを見つけながら読む ○同じような事柄が何度か出てくるときは、描かれ方に着目し、どんなつながりがあるかを考える。 ○「なぜだろう。」と思うような登場人物の行動や様子について、他で書かれていることと結び付けて、その理由を想像する。
スワンレイクのほとり		○		◎	読んで考えたことを伝え合う ○登場人物の変化を、人物の経験したことや、他の人物との交流の様子などにつなげて想像する。 ○考えたことを伝え合うときは、何に着目して読み、考えをもったのかをはっきりさせる。 ○自分と友達の考えを比べながら聞くことで、物語に対する新しい見方に出会ったり、自分の考えが深まったりする。
本のポップや帯を作ろう 神様の会談				○	本の読み方について考える ○先を予想したり、問いをもったりしながら読む。 ○分からない言葉が出てきたら、前後の文章から考えたり、国語辞典などで調べたりする。 ○読む速さを変える。少し戻って読むなど、自分のペースで読み進める。

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表C(1)イ 登場人物の相互関係や 心情などについて、描写 を基に捉えること	思・判・表C(1)エ 人物像や物語などの全体像を具体 的に想像したり、表現の効果を考 えたりすること	思・判・表C(1)オ 文章を読んで理解したこ とに基づいて、自分の考え をまとめること	思・判・表C(1)カ 文章を読んでまとめた意見や感 想を共有し、自分の考えを広げ ること	
5 年	銀色の裏地	◎				表現に着目して、人物の心情や関わりを考える ○次のような表現から、人物の心情や関わりを考える。 ・行動の様子や表情を表す表現 ・人物の心の中の言葉 ・対比的な表現 ○人物の関係は、図に表して整理すると理解しやすい。 ○人物の心情や、人物どうしの関わりが変化したきっかけと、どう変化したかを捉える。
	たずねびと		◎			物語の全体像を想像する ○中心となる人物が会う人やもの、経験したことが、物語においてどのような役割をもっているかを考える。 ○物語の展開とともに、何度も出てくるものや人物が、どのように表現されているかに気をつけて読む。
	やなせたかし —アンパンマンの 勇気	○		◎		伝記を読み、自分の生き方を考える。 ○伝記に描かれた出来事や言動から、その人物の生き方や考え方を捉える。 ○自分の生き方に取り入れたいことや、自分はどう行きたいかを考えながら読む。
	大造じいさんとガ ン		○		◎	多様な観点から読み、魅力を伝え合う ○物語の印象は、出来事や登場人物の行動、心情だけでなく、それがどのように表現されているかということからも生ま れる。 ○さまざまな点に着目して読むことで、物語を豊かに想像し、物語の魅力を見つけることができる。 ○見つけた魅力を伝え合うことで、自分の考えを広げ、物語を深く味わうことができる。
	読書 作家で広げるわた したちの読書 モモ				◎	作家に着目して読み広げる ○読みたい本を見つけるときには、次のようにするとよい。 ・作家やジャンルに着目する。 ・あらすじを読む ・図書館や友達が薦めるものから選ぶ。 ○好きな作家に着目することで、自分の好きなジャンルやテーマ、友達との共通点などに気づくことがある。
6 年	帰り道	◎				視点や作品の構成に着目して読む ○同じ出来事や同じ人物のことで、語られる視点によって、その捉え方や見え方は違ってくる。 ○物語の展開や構成に沿って、人物の心情や関係が分かる表現を整理すると、その移り変わりが捉えやすい。
	やまなし イーハトーヴの夢		◎			作品の世界を捉える ○作品の内容とともに、次のような点からも、どのような作品世界が生まれているかを考える。 ・題名の付け方 ・構成 ・表現のしかたや言葉の使い方 ○作者の生き方や、他の作品の書かれ方と関連させて、考えを深める。
	ぼくのブック・ウー マン		○	◎		物語を読んで、自分の考えをまとめる ○登場人物のものの見方や考え方の変化などから、物語全体で何がどう描かれているかを考える。 ○物語に描かれていることと、自分の生活や知識、読書経験などを具体的に結び付けて、考えをまとめる。
	海の命		○		◎	人物の生き方に着目して読み、考えを広げる ○次のことに気をつけて、読んだ人どうして語り合うと、その作品に対する考えや、人物の生き方についての考えが広が る。 ・中心となる人物が、周囲の人物からどのような影響を受けたか。 ・人物の考え方や生き方を通して、読者に訴えかけてくるものは何か。

	読書 私と本 星空を届けたい			○	○	読書を通して自分の考えを深め、広げる ○本を読んで知ったことを、自分の生活にいかす。 ○本に書かれていたことを、インターネットなどでさらに調べる。 ○同じテーマの本を複数読み、自分の考えを深める。
--	----------------------	--	--	---	---	--

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表C(1)イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。	思・判・表C(1)ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。	思・判・表C(1)エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。	思・判・表C(1)オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。	
7 年	シンジュン	◎				場面の展開に着目する ○心情や行動を表す語句に注意して読む。
	詩の世界			◎		表現の効果を考える ○詩の言葉を読み味わい、語感をみがく。
	大人になれなかった弟たちに・・・	◎				描写に着目する ○関連する本などを読み、自分の考えを広げる。
	星の花がふることに		◎			場面や描写を結び付けて読む ○比喩の表現について理解して、内容を想像する。
	大阿蘇			◎		表現の効果などについて考える ○語感を磨き、語彙を豊かにする。
	少年の日の思い出			◎	◎	場面の展開や表現の効果、語り手に着目する ○文章の中での語句の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。
	随筆二編		◎			場面の展開や描写を基に、筆者の思いを捉える ○事物や情感を表す語句や表現に着目して読み、語感を磨く。
	さくらはなびら				◎	表現を読み味わい、作者の思いについて考える ○表現技法の種類と効果を理解して、詩を読む。

	教材名	指導事項					単元の概要
		思・判・表C(1)ア 文章全体と部分の関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。	思・判・表C(1)イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。	思・判・表C(1)ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえ、内容を解釈すること。	思・判・表C(1)エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。	思・判・表C(1)オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	
8年	アイスプラネット	◎					登場人物の設定を捉える ○登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して読む。
	短歌に親しむ 短歌を味わう				◎	◎	知識や経験と結び付けて読み深める ○情景などを表す多様な語句に着目し、語感を磨く。
	言葉の力					◎	知識や経験と結び付けて考えたことを伝え合う ○本や文章には、さまざまな考え方が書かれていることを知る。
	盆土産		◎				登場人物の言動の意味を考える ○登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、作品に与える印象を考える。
	字のない葉書				◎		文章の構成や表現の効果を考える ○随筆の味わい方を知り、日常の読書に生かす。
	月夜の浜辺				◎		表現の効果などについて考える ○語感を磨き、語彙を豊かにする。
	走れメロス		◎			◎	人物像や表現の効果などに着目して、作品の魅力を考える ○抽象的な概念を表す語句が、作品に与える印象を考える。
木					◎	作者のものの見方を捉え、自分の考えを広げる。 ○抽象的な概念を表す言葉などに着目する。	

	教材名	指導事項				単元の概要
		思・判・表C(1)ア 文章の種類を踏まえて、論 理や物語の展開の仕方など をとらえること。	思・判・表C(1)イ 文章を批判的に読みながら、文章 に表れているものの見方や考え方 について考えること	思・判・表C(1)ウ 文章の構成や論理の展 開、表現の仕方について 評価すること。	思・判・表C(1)エ 文章を読んで考えを広げた り深めたりして、人間、社会、 自然などについて、自分の意 見をもつこと。	
9 年	握手	◎	◎			作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める ○登場人物の言動を表す語句に着目し、その意味を考える。
	俳句の可能性 俳句を味わう			◎		内容や表現に着目し、俳句を評価しながら読み深める ○俳句の特徴について理解を深める。
	挨拶—原爆の写 真によせて			◎	◎	表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせて考えを深める ○比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考える。
	故郷		◎		◎	小説を批判的に読み、社会や人間について考える ○人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、読書の意義を理解する。
	初恋			◎		表現のしかたについて評価する ○語感を磨き、語彙を豊かにする。
	温かいスープ				◎	国際社会における人と人との関係について考える ○人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、読書の意義を理解する。
	わたしを束ねな いで				◎	言葉や表現から作品のもつメッセージを捉え、自分の可能性について考える ○語感を磨き、語彙を豊かにする。